

設定支援ソフトウェア 取扱説明書

壁掛型非常用放送設備

型名 FS-1000 *Ver. 3*



このたびは、TOA 壁掛型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの設定支援ソフトウェア取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用ください ますようお願い申し上げます。

設定支援ソフトウェアの概要	4
設定の前に 動作環境 使用上のご注意 設置時の設定の流れ	4 4 4 6
設定支援ソフトウェアの準備 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールする 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を修復する	7 7 9 0
設定支援ソフトウェアを起動する1	1
設定データの新規作成1	2
設定の項目	7 8 9
 機器構成設定	20 20 21
スイッチ・制御設定2出力回線名称設定2出力回線グループ設定2一斉スイッチ設定2放送階選択スイッチ設定2業務 RM 本体設定3業務 RM スイッチ設定3緊急放送スイッチ設定3チャイムスイッチ設定3制御入力設定3制御出力設定4	222389235781
非常放送設定 4 非常系統名称設定 4 非常放送設定 4 非常系統 EL 設定 4 連動系統設定 4	2 2 4 7
業務放送設定	52 52 58

音源設定
メンテナンス 78 履歴ファイル表示 78 回線インピーダンス表示 80 システム動作確認モード設定 81 オンライン履歴表示 83 システム状態表示 84
FS-1000 とパソコンの通信 85 FS-1000 とパソコンを通信接続する 85 FS-1000 とパソコンの通信を切断する 87 設定データを FS-1000 にアップロードする 88 設定データを FS-1000 からダウンロードする 89 設定・音源データを FS-1000 にアップロードする 90 設定・音源データを FS-1000 からダウンロードする 91 履歴ファイルを FS-1000 からダウンロードする 92 通信ができないときは 93
ラベルの出力
履歴の出力
設定データの出力
設定のコピー
設定ファイルの読み込み100
設定ファイルの保存 101
CF カードイメージの読み込み 102
CF カードイメージの作成 103
設定支援ソフトウェアを終了する 104

[※] Microsoft、Windows、Windows Vista、および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

[※] Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

[※] その他の会社名および製品名も各社の商標です。



設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager は、壁掛型非常用放送設備 FS-1000 シリーズ専用のソフトウェア です。パソコンにインストールして使用します。

FS-1000 Manager を使用すると、FS-1000 のシステム稼働に必要な設定データを作成、保存することができます。

パソコンと FS-1000 を接続することにより、オンラインで設定データの送受信を行ったり、システムの動作 状態や履歴を確認することができます。

また、設定データや音源データを CF カードに保存して FS-1000 に読み込ませることもできます。

設定の前に

∎動作環境

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

• OS	: Windows 10 (32 bit/64 bit)、Windows 8.1 (32 bit/64 bit)、
	Windows 7 (32 bit/64 bit)、Windows Vista (32 bit/64 bit)
● CPU	:2 GHz 以上、Intel Pentium 4 以上
● メモリー	:1.5 GB 以上
● ハードディスク	:200 MB 以上の空き容量*1
●ディスプレイ	:1024 × 768 ピクセル以上
● アプリケーションソフトウェア	: Microsoft Excel * 2
●その他	:Microsoft .NET Framework 3.5 以上
	CF カードが読み書きできる環境* ³

*1 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のインストール時に必要な空き容量です。

*² 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager でラベル印刷するときに必要です。 パソコンの OS が Windows 10 または Windows 8.1 の場合は Microsoft Excel 2013 以上、Windows 7 また は Windows Vista の場合は Microsoft Excel 2007 以上のバージョンのものをお使いください。

*³ PC カードスロットおよび CF カードアダプターを使用するか、外付けの CF カードリーダー/ライターな どを用意してください。

■ 使用上のご注意

● CF カードについて

[データの保存]

- 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定したデータを CF カードに保存する場合は、FS-1000 に付属の CF カードを使用してください。
- 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager に関係のないファイルは、CF カードに保存しないでください。 誤動作の原因となります。

[挿抜に関して]

設定データの読み込み中および書き込み中に CF カードを抜き差ししないでください。 設定データや CF カードが破損する可能性があります。

[その他]

他の機器で使用した CF カードは絶対に使用しないでください。

●ソフトウェア使用許諾契約について

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のインストール時に使用許諾契約への同意が必要です。 契約書の条項に同意されない場合、TOA はお客様にこのソフトウェアのインストールおよび使用のいずれも 許諾することはできません。

● ディスプレイについて

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager は画面領域 1024 × 768 ピクセルのサイズで作成されています。 1024 × 768 ピクセル以下の画面領域を設定している場合や表示ウィンドウをリサイズした場合には、正しく 表示されないことがあります。

● 画面表示について

本書で説明している設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager の画面は表示例です。お使いの設定用パソコンの環境によっては表示が異なる場合があります。

● FS-1000 本体のファームウェアバージョンについて

- ●以下の機能は、FS-1000 本体のファームウェアバージョンが 2.00 以降でないと使用できません。
 - ・非常用リモコンの機種選択:FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM(💵 P. 15)
 - ・RM-200FのAUX入力(11387 P.33)
 - ・制御入力への緊急放送・緊急放送停止機能割当て(INF P. 39)
 - ・ボイススイッチ機能 (📭 P. 52)
- ●以下の機能は、FS-1000本体のファームウェアバージョンが 3.00 以降でないと使用できません。 ・定格出力:270 W (■③ P. 13)
- ●以下の機能は、FS-1000本体のファームウェアバージョンが 3.01 以降でないと使用できません。
 - ・警報言語の三ヶ国語・四ヶ国語 (📭 P.45)
 - ・外部マイク放送の BGM 制御方式:ボイススイッチ(1287 P. 55)
 - ・非常断 24 V 電源の緊急カット(📭 P. 56)
- FS-1000 本体の液晶画面で設定したデータまたは設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定したデータ よりも新しいバージョンでのみ使用可能な機能を選択したときは、画面左下に警告文が赤字で表示されます。

本設定データを使用する場合、FS-1000FUのファームウェアをVer.2.0以降に更新する必要があります。

また、画面下部のステータスバーにも警告文が表示されます。この表示は、他の画面に移っても表示され続けます。

本設定データを使用する場合、FS-1000FUのファームウェアをVer.2.0以降に更新する必要があります。

- FS-1000 本体のファームウェアバージョンの確認のしかたは、FS-1000 システム設定説明書「システム状態 確認」をお読みください。
- FS-1000 本体のファームウェアバージョンが 3.01 のときは、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager 3.1 をお使いください。
- FS-1000 本体のファームウェアのアップデートについては、当社営業所へお問い合わせください。

| 設置時の設定の流れ

7 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をパソコンにインストールする。(P.7) **2** 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を起動する。(P. 11) 3 設定データの新規作成をする。(P. 12) データ情報、ネットワーク情報、本体構成、リモコン構成を設定します。 **4** スイッチ・制御設定 (P. 22)、非常放送設定 (P. 42)、業務放送設定 (P. 52) をする。 **5** 音源データを編集する場合は、音源設定をする。(P. 60) **り** 設定・音源データを付属の CF カードに保存する。 2つの方法があります。 「方法1] 付属の CF カードに設定・音源データを保存した後、その CF カードを FS-1000 本体に挿入します。 ① CF カードイメージを作成する。(P. 103) ② 設定・音源データが保存された CF カードを FS-1000 本体に挿入する。(別冊の設置説明書参照) [方法 2] FS-1000 本体とパソコンを通信接続して、FS-1000 本体に挿入された CF カードに設定・音源データ をアップロードします。 ① FS-1000 本体とパソコンを通信接続する。(P. 85) ② 設定・音源データを FS-1000 にアップロードする。(P. 90) ご注意 音源データを編集していない場合も、「設定アップロード| ではなく、「設定・音源データアップロー ド」をしてください。 7 CF カードの設定・音源データを FS-1000 システムに反映させる。 FS-1000 本体の設定操作部で「設定データ更新」の操作を行います。(別冊のシステム設定説明書参照)

ご注意

設定・音源データが保存された CF カードは、そのまま FS-1000本体に挿入しておいてください。

2 設定支援ソフトウェアの準備

ご注意

- ●以下の作業を行うときは、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- 設定用のパソコンには管理者アカウントでログオンしてください。

■ 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストール する

7 「FS-1000_manager_ja_setup.msi」をダブルクリッ 😸 FS-1000 Manager クする。 FS-1000 Manager セットアップ ウィザードへようこそ インストール画面が表示されます。 インストーラーは FS-1000 Manager をインストールするために必要な手順を示します。 この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご 注意したし、 2 [次へ] ボタンをクリックする。 キャンセル < 戻る(B))次へ(N) > ライセンス条項の画面が表示されます。 🛃 FS-1000 Manag ライセンス条項 ライセンス条項をお読みください。以下の条件に同意される場合は[同意する]をクリックしてか ら[次へ]をクリックしてください。その他の場合は[キャンセル]をクリックしてください。 ソフトウェア使用許諾契約書 本使用許諾契約書(以下「本契約書」「本契約」)は、TOA株式会 社(以下「TOA」)製ソフトウェア及び付属するマニュアル等の印 刷物、電子的なドキュメント、音源データ(以下まとめて「本ソフト ウェア」)に関して、お客様(個人または団体)とTOAとの間で締 りょう」 / いまして、 む日本 (日/(み)、101(年) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (1001(1)) (10 3 使用許諾契約に同意後、「同意する」を選択して、「次 は本契約書の条項に拘束され されたものとします。本契 ◎ 同意する(A) ⑦ 同意しない(D) へ]ボタンをクリックする。 キャンセル < 戻る(B) ⇒次へ(N)> インストール先のフォルダー選択画面が表示されます。 🛃 FS-1000 Manager 4 インストール先を指定する。 インストール フォルダーの選択

インストール光を指定する。 インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、 インストール先のフォルダーを選択してください。 「ディスク領域」をクリックすると、パソコンの各ドラ イブの使用可能なディスク容量と、インストールに必要 なディスク容量が表示されます。

また、インストールを適用するユーザーについて、「す べてのユーザー」または「このユーザーのみ」のいずれ かを選択してください。



5	「次へ] ギタンをクリックオス	谩 FS-1000 Manager	
U	確認画面が表示されます。	インストールの確認	5
		FS-1000 Manager をインストールする準備ができました。 [次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
			B) (次へ(N) >
6	[次へ] ボタンをクリックする。	谩 FS-1000 Manager	
	インストールが開始されます。	FS-1000 Manager をインストールしています	
		FS-1000 Manager をインストールしています。	
		お待ちください	
		キャンセンル 〈 戻る(B) 次へ(N) >
	インストールが終了すると、完了画面が表示されます。	澍 FS-1000 Manager	
		インストールが完了しました。	
		FS-1000 Manager は正しくインストールされました。 終了するには、【閉じる】をクリックしてください。	
7	[閉じる] ボタンをクリックする 。 これで、インストールは完了です。 インストールが完了すると、自動的に、ショートカット がデスクトップに作成されます。	キャンセル (く戻る)	

※ 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をアップデートするときも、インストール手順と同様に行います。

■ 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を修復する

※ 実行ファイルを削除してしまったときや、破損してしまったときは、以下の手順で修復を行ってください

-			
	「FS-1000_manager_ja_setup.msi」をダブルクリッ	谩 FS-1000 Manager	×
	クする。	FS-1000 Manager セットアップ ウィザードへようこそ	
	セットアッフ画面が表示されます。	FS-1000 Manager の修復または削除のどちらかを選択してください。	
		● FS-1000 Manager の博復(R) ● FS-1000 Manager の資源除(M)	
2	「FS-1000 Manager の修復」を選択し、[完了]ボ タンをクリックする。	 (戻る(B)	完了(F)
	修復が開始されます。	谩 FS-1000 Manager	
		FS-1000 Manager をインストールしています	-
		FS-1000 Manager をインストールしています。	
		お待ちください…	
		キャンセル < 戻る(B)) 次へ(N) >
	修復が終了すると 空了画面が表示されます	澍 FS-1000 Manager	×
		インストールが完了しました。	
		FS-1000 Manager は正しくインストールされました。	
		終了するにこす。 [閉じる]をクリックしてくださし い	
~			
3	[閉じる] ボタンをクリックする。	キャンセル 〈戻る(B)	閉じる(0)
	これで、修復は完了です。	L	

■ 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をアンインス トールする

● OS が Windows 10、Windows 8.1 の場合

- **1** 「コントロールパネル」を開く。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** 「プログラムのアンインストール」をクリックする。 現在インストールされているプログラムが表示されます。
- **3**「FS-1000 Manager」を選択する。

4 [アンインストール] をクリックする。 ソフトウェアがアンインストールされます。

- OS が Windows 7、Windows Vista の場合
- **1** デスクトップ画面のスタートボタンをクリックし、[コントロールパネル]を選択する。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** 「プログラムと機能」のアイコンをクリックする。 現在インストールされているプログラムが表示されます。
- **3**「FS-1000 Manager」を選択する。
- **4** [アンインストール] ボタンをクリックする。 ソフトウェアがアンインストールされます。



インストール時、デスクトップに作成された設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のショートカットをダブルクリックする。

または、デスクトップ画面のスタートボタンをクリックし、プログラムから [TOA Corporation \rightarrow FS-1000 Manager] を選択する。

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager が起動します。



起動選択画面が表示されます。

起動選択	
	実行する処理を選んでください。
5-10	◎ 新規作成
	◎ 既存ファイルを開く
□ ↓後表示しない	、再び表示する場合は〔ツール〕ー「オブション〕より解除してください。 OK

このボックスにチェックを入れると、ソフトウェアを起動するときに、次回からこの画面は表示 されません。



設定データの新規作成

7 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager の起動後 に表示される起動選択画面で、「新規作成」を選択 し、[OK] ボタンをクリックする。



または、メニューバーから [ファイル→ 新規作成] を選択する。

データ情報、ネットワーク情報の設定画面が表示されます。

💹 新規作成ウィザー	- ド(1/3)	
データ情報		ネットワーク情報 2
作成者	: 作成者名	192、168、14、1
物件名称	: 物件名称	サブネットマスク : 255.255.0
納入日時	: yyyy/mm/dd hh:MM:ss	デフォルトゲートウェイ : 0 . 0 . 0 . 0
作成日時	: 2013/10/03 11:54:44	
備考	: なし	
		3 (x^(N) > ++>>ter

2 データ情報、ネットワーク情報の設定をする。

①データ情報

設定データの作成者、物件名称、納入日時、作成日時、備考を入力します。 入力できる文字数は以下のとおりです。 備考欄以外:36 文字(全角/半角区別なし) 備考欄 :1000 文字(全角/半角区別なし)

② ネットワーク情報

FS-1000のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。 ネットワーク設定は、オンライン接続時に使用します。ネットワーク環境に合わせて、設定してください。 詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。 FS-1000とパソコンを接続しない場合は設定不要です。

※ デフォルトは次のとおりです。
 IP アドレス : 192.168.14.1
 サブネットマスク : 255.255.255.0
 デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

メモ

IP アドレス設定済みの FS-1000 と通信する方法については、P. 85「FS-1000 とパソコンの通信」をお 読みください。 **3** [次へ] ボタンをクリックする。 本体の構成設定画面(手順4参照)が表示されます。

4 本体構成の設定をする。

[本体構成設定画面]

🧃 新規作成ウィザード(2/3)	
本体の構成を設定します。 () 原数 () 原数 () 原数 () 原数 () 原数 () 原数 () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () <	1 一次送船送択2.4% 子鼓 2 二日 2 二日 30 3 4 100 W 5 一方
	< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル
	5

①放送階選択スイッチ数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、放送階選択スイッチ数を選択します。(デフォルト:20)

設定範囲 20、30、40

放送階選択スイッチ数、局数、EL 端子数は本体ユニットの機種ごとに異なります。 また、上記のいずれか1つを設定すると他の設定は自動的に決定されます。

機種	放送階選択スイッチ数	局数	EL 端子数
FS-1010FU	20	10	10
FS-1020FU	30	20	20
FS-1030FU	40	30	30

2 局数

ボックスをクリックし、局数を選択します。(デフォルト:10)

| 設定範囲 | 10、20、30

③ EL 端子数

ボックスをクリックし、EL 端子数を選択します。(デフォルト:10)

| 設定範囲 | 10、20、30

④定格出力

定格出力を選択します。(デフォルト:90W)

設定範囲	90 W、180 W、	270 W、400 W
機種	出力 W 数	ご注意
FS-1109PL	J 90 W	 [270 W (FS-1127PU)の設定は, FS-1000 本体のファームウェアバージョ
FS-1118PL	J 180 W	1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -
FS-1127PL	J 270 W	
FS-1140PL	J 400 W	

5業務停電

業務用電源ユニットの有無を選択します。(デフォルト:なし)

設定範囲はなし、あり

5 [次へ] ボタンをクリックする。

リモコンの構成設定画面(手順6参照)が表示されます。

6 非常用リモコンおよび業務用リモコンの設定をする。

※非常用リモコンおよび業務用リモコンを使用しない場合、この設定は不要です。

[リモコン構成設定画面(非常 RM3 タブ選択時)]

	2 新規作成ウィザード(3/3)	×
1 非權		3 ID: 02
增設 台数 (2)	と な な また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また2000LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また200LM で また た また また た た た た た た た た た た た た た	
		e>tzu

①非常リモコン台数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、非常用リモコン台数を選択します。(デフォルト:0台)

設定範囲 0~4

②業務リモコン台数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、業務用リモコンの合計台数を選択します。(デフォルト:0台)

ご注意

接点式リモコン RM-1100 の台数は含みません。

設定範囲 0~4

③非常 RM、業務 RM 選択タブ

設定を行いたいリモコンを選択します。 非常 RM タブを選択した場合、非常用リモコンの機種や増設操作パネル、電源パネルの設定をします。 業務 RM タブを選択した場合、業務用リモコンの機種や拡張局数の設定をします。 非常用/業務用リモコンの台数設定後に、リモコンのアイコンをクリックしても、同様の操作が行えます。

6-1 非常 RM タブを選択して、非常用リモコンの設定をする。

設定画面は前ページを参照してください。

④機種名

ボックスまたは矢印キーをクリックし、非常リモコンの機種を選択します。(デフォルト:FS-1010RM) 「設定範囲 | FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM

※ 機種名を FS-2000RM 以外に設定した場合は、以降の⑤拡張局数、⑦電源パネル台数の設定は行えません。

⑤ 拡張局数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、増設操作パネルのスイッチ数を選択します。(デフォルト:0局)

┃ 設定範囲 0 局、10 局、20 局

⑥増設操作パネル品番

⑤で設定した局数により、使用する増設操作パネルの品番が表示されます。

⑦電源パネル台数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、電源パネル台数を選択します。(デフォルト:0台) 業務停電放送機能を使用する場合と使用しない場合で、接続できる台数は異なります。

[業務停電放送機能を使用する場合]

□ 設定範囲 □ 0、2

[業務停電放送機能を使用しない場合]

| 設定範囲 | 0、1

⑧電源パネル品番

電源パネルの品番は固定になっています。
 [ID] は各機器のアドレススイッチで設定が必要な番号を表します。
 電源パネルの品番は以下のとおりです。
 No. 1:FS-2006DS(非常用)
 No. 2:FS-2006DS(業務用)

6-2 業務 RM タブを選択して、業務用リモコンの設定をする。

[リモコン構成設定画面(業務 RM1 タブ選択時)]

🔄 新規作成ウィザード(3/3)		x
リモニンの構成を設定します。 - 非常りモニン リモニン合数 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	JF茶RM1 非茶RM2 非茶RM3 非茶RM4 菜務RM1 菜務RM2 菜務RM3 菜務RM4 (操種 RM-200F (卓上) → 9 (払決局数 80局 → 10	ID: 00
3 ● ■ ■ 型モコン ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM ● FS-2000RM		
#90℃」 りてン合款 4 ・ 4 ・ 4 ・ 4 ・ 2 ******************************	増設操作パネル局数	
	< 戻3(B) (充7(F))	キャンセル

⑨業務リモコン機種

ボックスをクリックし、業務用リモコンの品番を選択します。(デフォルト:RM-200F(卓上))

│設定範囲 │RM-200F(卓上)、RM-200FW(壁掛)

⑩ 拡張局数

ボックスまたは矢印キーをクリックし、拡張局数を設定します。(デフォルト:0 局) 業務用リモコンの機種により、設定できる局数は異なります。 拡張できる局数は、RM-200F のときは 30 局まで、RM-200FW のときは 40 局までです。



[RM-200F を使用する場合]

設定範囲 0~30(10局単位)

[RM-200FW を使用する場合]

設定範囲 0~40(20局単位)

ご注意

RM-200FW は 20 局単位でのみ拡張可能です。

拡張ユニットを使用する場合は、局数の値に注意して 20 局単位で設定を行ってください。

①非常用/業務用リモコン ID

選択中の非常用リモコンまたは業務用リモコンの ID を表します。 ID は各非常用/業務用リモコンのアドレススイッチ、DIP スイッチで設定が必要な番号を表します。

7 [完了] ボタンをクリックする。

機器構成設定が完了し、機器構成画面が表示されます。 途中で [キャンセル] ボタンをクリックした場合も、この画面が表示されます。



設定の項目

設定画面左に表示されているのが、メニュー項目です。 「機器構成設定」から「業務放送設定」まで、上から順番に設定していきます。 新規作成で機器構成設定が完了している場合は、スイッチ・制御設定から設定していきます。 メニュー項目をクリックすると、各項目の設定画面が表示されます。



■ メニュー構成

機器構成設定 (P. 20)	データ情報	(P. 20)	物件情報およびネットワーク情報を設定 します。
	機器構成	(P. 21)	機器の構成を決定します。
スイッチ・制御設定 (P. 22)	出力回線名称設定	(P. 22)	出力回線の名称を設定します。
_	- 出力回線グループ設定	(P. 23)	出力回線のグループ設定を行います
_	一斉スイッチ設定	(P. 28)	FS-1000 本体および非常用・業務用リモ コンの一斉スイッチの設定をします。
	放送階選択スイッチ設定	(P. 29)	FS-1000 本体および非常用リモコンの回 線選択スイッチの設定をします。
	業務 RM 本体設定	(P. 32)	業務用リモコンの動作を設定します。
-	業務 RM スイッチ設定	(P. 33)	業務用リモコンのキーの設定をします。
	緊急放送スイッチ設定	(P. 35)	緊急放送スイッチの設定をします。
_	チャイムスイッチ設定	(P. 37)	FS-1000 本体および非常用・業務用リモ コンのチャイムスイッチの設定をします。
	制御入力設定	(P. 38)	制御入力の設定をします。
L	制御出力設定	(P. 41)	制御出力の設定をします。
非常放送設定(P. 42)	非常系統名称設定	(P. 42)	非常系統の名称を設定します。
	非常放送設定	(P. 44)	非常放送時の動作を設定します。
_	非常系統 EL 設定	(P. 47)	階別信号の設定をします。
	連動系統設定	(P. 48)	放送階の連動設定をします。
業務放送設定 (P. 52)	業務放送動作設定	(P. 52)	業務放送時の動作を設定します。
	優先度設定	(P. 58)	音源の優先度を設定します。
音源設定 (P. 60)	音源データ編集	(P. 60)	内蔵音源データを編集します。
メンテナンス (P. 78)	履歴ファイル表示	(P. 78)	履歴を表示します。
-	回線インピーダンス表示	(P. 80)	ダウンロードして取得したインピーダン ス値を表示します。
-	システム動作確認モード設定	(P. 81)	システム動作確認時の動作を設定します。
-	オンライン履歴表示	(P. 83)	履歴をオンラインで表示します。
	システム状態表示	(P. 84)	システムの状態をオンラインで表示します。

■ メニューバーの項目と解説

	フ	ア	1	J	6	(F)
$\mathbf{-}$	-	· ·				<u> </u>

新規作成(<u>N</u>) 開く(<u>O</u>)	:FS-1000 システムの設定データを新規作成します。(恥る P. 12)
設定ファイル(<u>S</u>) 唇歴ファイル(山)	: FS-1000 システムの設定データを読み込みます。(INS P. 100) : FS 1000 システムの層歴データを読み込みます。(INS P. 70)
_{履歴} ファイル(<u>「</u>) 上書き保存(<u>S</u>)	・FS-1000 システムの履歴) - タを読み込みより。(■S F. 79) :編集中の FS-1000 システムの設定データを上書き保存します。 (■S P. 101)
名前をつけて保存(<u>A</u>)	:編集中の FS-1000 システムの設定データを名前をつけて保存 します。(III P. 101)
CF カードイメージの読み込み(<u>R</u>)	: CF カードから設定データと音源データを読み込みます。 (III P. 102)
CF カードイメージを作成(<u>W</u>)	: CF カードに、適切なフォルダー名とファイル名で、設定デー タと音源データを保存します。(■37 P. 103)
設定データ出力(<u>B</u>)	: 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定したデータを 出力します。(INST P. 98)
ラベル出力(<u>L</u>)	: FS-1000本体、非常用リモコンおよび業務用リモコンのラベル を出力します。(🖙 P. 94)
履歴出力(<u>H</u>)	:設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager に読み込んだ FS-1000 システムの履歴データを出力します。(■37 P. 97)
終了(<u>X</u>)	:設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を終了します。 (IIS P. 104)
● 通信(<u>C</u>)	
接続(<u>C</u>)	:FS-1000 とパソコンを接続します。(■③ P. 85)
切断(<u>D</u>) 設定ダウンロード(本体 CF → PC)(<u>R</u>)	: FS-1000 とパワコンの通信を切断します。(■③ P. 87) : FS-1000 の CF カードの設定データを読み込みます。 (■③ P. 89)
設定アップロード(PC →本体 CF)(<u>W</u>)	(FS-1000のCFカードに設定データを書き込みます。
設定・音源ダウンロード (本体 CF → PC) (<u>O</u>)	(IS-1000のCFカードの設定・音源データを読み込みます。 (IS-1000のCFカードの設定・音源データを読み込みます。
設定・音源アップロード (PC →本体 CF) (<u>U</u>)	:FS-1000のCFカードに設定・音源データを書き込みます。 (■37 P.90)
履歴ファイル取得(<u>H</u>)	: FS-1000 の CF カードの履歴データを読み込みます。 (■③ P. 92)
通信設定(<u>S</u>)	: FS-1000 とパソコンを接続するときの通信設定をします。 (■〒 P. 85)
● ツール (<u>T</u>)	
設定をコピー(<u>C</u>)	
本体・非常リモコン(<u>E</u>)	:FS-1000 または非常用リモコンの設定内容を設定対象にコピー します。(■37 P.99)
業務リモコン(<u>G</u>)	:業務用リモコンの設定内容を設定対象にコピーします。 (■容 P.99)
オプション(<u>O</u>)	:設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager 起動時の画面選択を します。(■37 P 11)
● ヘルプ(<u>H</u>)	

バージョン情報(<u>A</u>):設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のバージョン情報を 表示します。

機器構成設定

■ データ情報

メニュー項目の「機器構成設定」ー「データ情報」をクリックすると、データ情報画面が表示されます。 設定データ作成時の情報およびネットワークの設定を行います。 設定の詳細については、P.12「設定データの新規作成」をお読みください。

FS-1000 Manager -					- 0 ×
ファイル(F) 通信(C) ツー	ル(T) ヘルプ(H)				
□ 11 機器構成設定	デーダ情報		ネットワーク情報		
	作成者	: 作成者名	IPアドレス	: 192.168.14.1	
□□ 出力回線名称設定 □□ 出力回線名称設定 □□ 出力回線グループ設定	物件名称	: 物件名称	サブネットマスク	: 255.255.255.0	
─□ 一斉スイッチ設定 一□ 放送階選択スイッチ設定	納入日時	: yyyy/mm/dd hh:MM:ss	デフォルトゲートウェイ	: 0.0.0.0	
□ 業務RM本体設定 □ 業務RMスイッチ設定 □ 駅急な送2イッチ設定	作成日時	: 2015/01/05 11:07:28			
	備考	: tau			
□ 制御出力設定 □ 长 非常放送設定					
□ 非常系統名称設定 □ 非常放送設定 □ 非常放送設定 □ 非常系統口設定					
□ 連動系統設定					
□ □ 業務放送動作設定 □ 優先度設定					
□-11 音源設定 □ □ 音源データ編集 □ □ ・					
□□ 履歴ファイル表示 □□ 同線インピーダンス表示					
ーロ システム動作確認モード ーロ オンライン履歴表示					
└─□ システム状態表示					
					二、汤/言,tTHK
[실 표명 : 이미



メニュー項目の「機器構成設定」ー「機器構成」をクリックすると、機器構成設定画面が表示されます。 FS-1000 本体、業務用電源パネル、非常用リモコン、業務用リモコン、デジタルパワーアンプの設定を行い ます。

設定の詳細については P. 12「設定データの新規作成」をお読みください。



スイッチ・制御設定

FS-1000本体、非常用リモコン、および業務用リモコンのスイッチ、制御入出力などの設定を行います。

■ 出力回線名称設定

各出力回線の回線名称を変更することができます。

	$\mathbf{\Psi}$			
FS-1000 Manager -				
ファイル(F) 通信(C) ツール	レ(T) \>レプ(H)			
□ - 王 機器構成設定	回線番号	回線名称		
□ 丁一ダ情報	▶ 1	回線1		
□- <u>↓</u> スイッチ・制御設定	2	回線2		
-> 出力回線名称設定	3	回線3		
	4	回線4		
─□ 放送階選択スイッチ設定	5	回線5		
── 業務RM本体設定	6	回線6		
──■ 果物KM人1ッナ設定 ──■ 緊急放送スイッチ設定	7	回線7		
─目 チャイムスイッチ設定	8	回線8		
	9	回線9		
□ ● 制御出力設定	10	回線10		
─□ 非常系統名称設定	11	回線11		
──□ 非常放送設定	12	回線12		
— □ 非常杀税とL設定 — □ 連動系統設定	13	回線13		
□ ● 業務放送設定	14	回線14		
─□ 業務放送動作設定	15	回線15		
□□ 優先度設定	16	回線16		
□□□ 音源データ編集	17	回線17		
□-へ メンテナンス	18	回線18		
一目 腹歴ファイル表示	19	回線19		
一日 システム動作確認モード	20	回線20		
一日 オンライン履歴表示				
□□ ジステム状態表示				
	L			
				通信:

①回線番号

出力回線の番号を表示します。

②回線名称

出力回線の名称を設定します。(デフォルト:回線1~回線30)

	設定範囲	半角 32 文字以内、	全角 16 文字以内
--	------	-------------	------------

■出力回線グループ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「出力回線グループ設定」をクリックすると、出力回線グループ 設定画面が表示されます。

設定した出力回線グループを割り当てることで、非常放送および業務放送を行うときに、複数の回線へ放送 することができます。



①名称

出力回線グループの名称を設定します。(デフォルト:グループ1~100)

設定範囲 | 半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

②選択数

グループに割り当てられた出力回線の数を表示します。

③出力回線 ON/OFF

グループに割り当てる回線を設定します。(設定のしかた 📭 次ページ) 使用する回線には「●」がつきます。 また、グループ 100 は、全回線が選択されています。 [1回線を追加するときの例]

1 追加したい回線のセルをクリックする。 選択されたセルの色が青色になります。 (グループ1の回線2を選択した例)



2回線を選択した状態でダブルクリックするか、または Enter キーを押す。 選択した箇所に「●」がつき、選択数が「1」から「2」に変化します。 (グループ1に回線2を追加した例)



メモ

選択されている箇所をダブルクリック、または Delete キーを押すと選択が解除されます。

1 追加したい回線のセルをドラッグする。 選択されたセルの色が青色になります。 (グループ10の回線1~9を選択した例)



2 Enter キーを押すか、またはマウスを右クリックし「選択エリア設定」をクリックする。

(マウスを右クリックした例)



選択した箇所に「●」がつき、選択数が増加します。

(グループ10に回線1~9を追加した例)



メモ

解除したい回線を選択し Delete キーを押すか、またはマウスの右クリックで「選択エリア消去」を選択 すると、複数回線の選択を解除できます。

[回線の選択状態をコピーして貼り付けるときの例]

1 コピーしたい回線のセルを1つクリックするか、または複数箇所ドラッグする。 選択されたセルの色が青色になります。





3 貼り付けしたい回線のセルの先頭をクリックする。 選択されたセルの色が青色になります。

4 マウスを右クリックし「貼り付け」をクリックする。



貼り付けた箇所に「●」がつき、選択数が貼り付けた数だけ増加します。

(グループ11に回線1~9を追加した例)



■ 一斉スイッチ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「一斉スイッチ設定」をクリックすると、一斉スイッチ設定画面 が表示されます。

FS-1000 本体および非常用リモコンの通常一斉放送スイッチと緊急一斉放送スイッチ、業務用リモコンの一 斉放送キーに任意の出力回線グループを設定することができます。



ご注意

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。



① グループ番号

任意の出力回線グループ番号を設定します。(デフォルト:グループ 100)

設定範囲 1~100

2 緊急

一斉放送時に、アッテネーターを有効にするか無効にするかを設定します。 アッテネーターを有効にするときは、チェックを外します。(緊急なし) アッテネーターの設定に関係なく常に最大音量で放送するときは、チェックを入れます。(緊急あり) 業務用リモコンのみ変更が可能です。(デフォルト:緊急なし)

|設定範囲 |緊急あり、緊急なし

③回線数、回線選択表示

通常一斉放送スイッチ、緊急一斉放送スイッチ、および一斉放送キーに設定されたグループ番号の出力回 線数と、出力先を表示します。

■ 放送階選択スイッチ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「放送階選択スイッチ設定」をクリックすると、放送階選択スイッ チ設定画面が表示されます。

FS-1000本体または非常用リモコンの放送階選択スイッチに、用途や出力回線などの設定をします。 放送階選択スイッチおよびスイッチ番号は下図のとおりです。



ご注意

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。

			(1)															
[FS-1000 Manager -																, 0)	x
ファイル(F) 通信(C) ツーノ	ν(T)	へレプ(H)																
□- ■	本体	非常リモコン1 非常	リモコン2 非	常りモコ	ン3 非常リモ	4/1						_	_			_	_	
 □ 機器構成 □ ⇒ スイッチ・制御殿定 □ □ 出力回線名称設定 □ 出力回線グループ設定 □ □ 一百スイッチ設定 		名称	用途	緊急	(個別) ノケドルーフ [。]	回線/クカレーブ番号	非常系統	回線数	1:回線1	2:回親2 2:回親2	o:山称o 4:回線4	5:回線5	6:回線6	7:回線7	8:回線8	9:回線9 •• 回線9	11:回線11	
▶ 放送階選択スイッチ設定	▶ 1	2イッチ1	業務		グループ	1:グループ1		1	٠									
	2	スイッチ2	業務		グループ	2.グループ2		1		•								
□ 緊急放送スイッチ設定	3	スイッチ3	業務		グループ	3:グループ3		1		•					Ц	\square		
	4	スイッチ4	業務		グループ	4:グループ4		1			•	·						
	5	スイッチ5	業務		グループ	5:グループ5		1				٠						
□ — 参 非常放送設定	6	スイッチ6	業務		グループ	6:グループ6		1					٠					
□ 非常系統名称設定	7	スイッチ7	業務		グループ	7:グループ7		1				\perp		٠				
□ 非常放达設定	8	スイッチ8	業務		グループ	8:グループ8		1							•			
□ 連動系統設定	9	スイッチ9	業務		グループ	9:グループ9		1								•		
□ 鄭 業務放送設定	10	スイッチ10	業務		グループ	10:グループ10		1								•		
□ 業務放送動作設定	11	スイッチ11	兼用		個別	1:回線1	1:非常系統1	1	٠									
■ 優元度設定	12	スイッチ12	兼用		個別	2:回線2	2:非常系統2	1		•								
□ 音源データ編集	13	スイッチ13	兼用		個別	3:回線3	3:非常系統3	1		_								
□-へ メンテナンス	14	スイッチ14	兼用		個別	4:回線4	4:非常系統4	1			•	·						
□ 度歴771ル表示 □ 回線インピーダンス表示	15	スイッチ15	兼用		個別	5:回線5	5:非常系統5	1				٠						
	16	スイッチ16	兼用		個別	6:回線6	6:非常系統6	1					٠					
□ オンライン履歴表示	17	スイッチ17	兼用		個別	7:回線7	7:非常系統7	1						٠				
□ ジステム状態表示	18	スイッチ18	兼用		個別	8:回線8	8:非常系統8	1							٠			
	19	スイッチ19	兼用		個別	9:回線9	9:非常系統9	1								•		
	20	スイッチ20	兼用		個別	10:回線10	10:非常系統10	1										
	21	スイッチ21	兼用		個別	11:回線11	11:非常系統11	1									•	
	22	スイッチ22	兼用		個別	12:回線12	12:非常系統12	1										
	23	スイッチ23	兼用		個房川	13:回線13	13:非常系統13	1										
	24	スイッチ24	兼用		個別	14:回線14	14:非常系統14	1										1-
	•	T	T	Ť	T	T	T								-	通信	;:切	断:
		(2)	(3)	(4)) (5)	(6)	(7)				(8	3)						

① ユニット選択タブ

「本体」(FS-1000)または「非常リモコン1~4」の放送階選択スイッチ設定画面を切り換えます。

②名称

スイッチの名称を設定します。(デフォルト:スイッチ1~最大スイッチ数)

設定範囲	半角 32 文字以内、全角 16 文字以内	
------	-----------------------	--

③用途

スイッチの用途を設定します。(デ	フォル	ト	: 兼用)
------------------	-----	---	-------

設定範囲 非常、業務、兼用、BGM、未使用

④緊急

放送時に、アッテネーターを有効にするか無効にするかを設定します。 アッテネーターを有効にするときは、チェックを外します。(緊急なし) アッテネーターの設定に関係なく常に最大音量で放送するときは、チェックを入れます。(緊急あり) (デフォルト:緊急なし ※用途が「非常」の場合、緊急あり)

| 設定範囲 | 緊急あり、緊急なし

ご注意

スイッチの用途を「非常」、「BGM」、「未使用」にしたときは変更できません。

⑤ 個別/グループ

出力回線を個別またはグループに設定します。(デフォルト:個別) スイッチの用途が「未使用」のときは設定できません。

| 設定範囲 | 個別、グループ

⑥回線/グループ番号

出力回線を設定します。

スイッチの用途が「未使用」のときは、設定できません。 設定可能な回線番号は局数によって決まります。(**■**3 P. 22 「出力回線名称設定」)

[個別の場合]

設定範囲 1~出力回線最大数

[グループの場合]

⑦非常系統

非常系統を設定します。

スイッチの用途を「業務」、「BGM」、「未使用」にしたときは変更できません。

| 設定範囲 | 1 ~ 30 ※ 名称は「非常系統名称設定」(🖾 P. 42) で登録した内容となります。

⑧回線数、回線選択表示

放送階選択スイッチに設定された出力回線数と、出力先を表示します。

| 業務 RM 本体設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「業務 RM 本体設定」をクリックすると、業務 RM 本体設定画面 が表示されます。

業務用リモコンの動作設定をします。

ご注意

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。



1 PTT/LOCK

RM-200Fのトークキーの操作方式を選択します。(デフォルト:LOCK) RM-200FW は PTT 式で固定となります。

設定範囲	LOCK	PTT
------	------	-----

メモ

- トークキーの操作方式にはロック式(LOCK)とプレストーク式(PTT)があります。
- LOCK :トークキーを一度押すとマイク放送が可能になり、もう一度押すとマイク放送を終了します。 PTT :トークキーを押している間だけマイク放送が可能です。
- ② タイムアウト

マイクを切り忘れたときのために、自動的に放送を終了させる時間を選択します。(デフォルト:連続) ※ トークキーの操作方式が「LOCK」の場合のみ選択できます。

| 設定範囲 | 連続、1 ~ 20 分

③ チャイム音量

業務用リモコンから放送されるチャイムの音量を選択します。(デフォルト:-6 dB)

設定範囲 | 0 ~ –20 dB 🛛 ※ 2 dB ステップ

④待ち時間

業務用リモコンのトークキーを押してから放送開始までの時間*を設定します。(デフォルト:0秒) デジタルパワーアンプや回線リレーの起動時間に合わせて設定してください。

* マイク放送開始時のチャイム音を「未使用」にしている場合は、マイク放送が始まるまでの時間、チャ イム音を放送する設定にしている場合は、チャイムが放送されるまでの時間になります。

設定範囲 0 12、0.5 12、1.0 12、1.5 12、2.0 12、5.0 12、4.0 1

⑤AUX 入力

■業務 RM スイッチ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「業務 RM スイッチ設定」をクリックすると、業務 RM スイッチ 設定画面が表示されます。

業務用リモコンの回線選択キーの設定をします。 回線選択キーおよびキー番号は下図のとおりです。





RM-220FW TOA RM-220FW 11 00 C 00 C C 10 00 00 \square 00 \bigcirc 00 \bigcirc \bigcirc 10 20

RM-210F(2日日):21~30 RM-210F(3 台目):31~40

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。

RM-220FW (2台目):21~40

ご注意

FS-1000 Manager - ファイル(F) 通信(C) ツール	μ(T) ^	Jレプ(H)																			
	業務ルモコ	ン1 業務リチョン/2	業務リチーン	3 業務リモコン4																	
 □ デーダ情報 □ 機器構成 □ 機器構成 □ 出力回線名称設定 □ 出力回線クループ設定 □ 二 百二次イッチ設定 		名称	(個別) /ケルーフ*	回線/ゲルーフ。番号	緊急	回線数	1:回線1	2回線2 3回線3	4: 回線 4	5: 回線 5	6:回線6 	/:回称/ 8:回線8	9:回線9	10:回線10	11:回線11	12:回線12	13:00-678,13 14:00-69,14	15:回線15	16:回線16	17:回線17	18:0\$\$,18
→ ■ 放送階選択スイッチ設定	1	スイッチ1	個別	1:回線1		1	٠														
● 業務KM本1年設定 業務BM2イッチ設定	2	スイッチ2	個別	2:回線2		1	1	•													
□ 緊急放送スイッチ設定	3	スイッチ3	個別	3回線3		1		•													
	4	スイッチ4	個別	4:回線4		1	Π		٠												
	5	スイッチ5	個別	5:回線5		1	Π			٠											
□ ₩ 非常放送設定	6	スイッチ6	個別	6:回線6		1	Π				•										
	7	スイッチ7	個別	7:回線7		1	Π		\square	\square	-	•	\top								
□ 非常放送設定	8	スイッチ8	個別	8回線8		1	Ħ		\square			•									
□ 非希米統LL設定 □ 這動系統設定	9	スイッチ9	個別	9:回線9		1	Ħ		\square				٠								
□	10	スイッチ10	個別	10回線10		1	\square		\square					٠							
	11	スイッチ11	個別	11:回線11		1	Ħ		\square				\top		٠			+			
□□□ 優无度設定	12	スイッチ12	個別	12回線12		1	Ħ		\square							٠					
日 音源データ編集	13	スイッチ13	個別	13回線13		1	Π		\square				\top				•				
□-へ メンテナンス	14	スイッチ14	個別	14:回線14		1	Ħ		\square									•			
	15	スイッチ15	個別	15:回線15		1	Ħ		\square				\top					•			
	16	スイッチ16	個別	16回線16		1	\square		\square										٠		
日 オンライン履歴表示	17	スイッチ17	個別	17:回線17		1	П						-							•	
□…□ システム状態表示	18	スイッチ18	個別	18回線18		1	\square		\square												•
	19	スイッチ19	個房川	19回線19		1	П														
	20	スイッチ20	個別	20回線20		1	\square		\square												
	21	スイッチ21	個房川	21:回線21		1	H						T								T
	22	スイッチ22	個別	22回線22		1	\square						1								1
	23	スイッチ23	個房川	23回線23		1	Π						T					T			
	24	てんいもうれ	1981	04-m%804		1							1						1		
	•		Ŧ		T					J		_	-								
																				通信	:切
C															_		-				

① ユニット選択タブ

設定を行う業務用リモコンのユニットを切り換えます。

2 名称

スイッチの名称を設定します。(デフォルト:スイッチ1~最大スイッチ数)

| 設定範囲 | 半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

③ 個別/グループ

出力回線を個別またはグループに設定します。(デフォルト:個別)

設定範囲 個別、グループ

ご注意 個別/グループ番号を「未使用」にしたときは設定できません。

④回線/グループ番号

出力回線を設定します。

設定可能な回線番号は局数とアドレスによって決まります。(📭 P. 22 「出力回線名称設定」)

[個別の場合]

│設定範囲 │未使用、1 ~出力回線最大数

[グループの場合]

| 設定範囲 | 未使用、1 ~ 100

⑤ 緊急

放送時に、アッテネーターを有効にするか無効にするかを設定します。 アッテネーターを有効にするときは、チェックを外します。(緊急なし) アッテネーターの設定に関係なく常に最大音量で放送するときは、チェックを入れます。(緊急あり) (デフォルト:緊急なし)

|設定範囲 |緊急あり、緊急なし

ご注意 個別/グループ番号を「未使用」にしたときは設定できません。

⑥回線数、回線選択表示

業務用リモコンの回線選択キーに設定された出力回線数と、出力先を表示します。

| 緊急放送スイッチ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「緊急放送スイッチ設定」をクリックすると、緊急放送設定画面 が表示されます。

FS-1000本体と非常用リモコンの緊急放送スイッチは共通の設定になります。



①名称

スイッチの名称を設定します。(デフォルト:緊急 SW1 ~緊急 SW4)

設定範囲 |半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

2 用途

スイッチの用途を設定します。(デフォルト:緊急 SW1 ~ 3「緊急放送」、緊急 SW4「地震放送停止」) 地震放送停止は、緊急 SW4 にのみ設定できます。

緊急 SW4 に「地震放送停止」を設定した場合、制御入力の地震放送入力の設定が「地震放送」となります。 [緊急 SW1 ~ 3 の場合]

[緊急 SW4 の場合]

設定範囲 | 緊急放送、地震放送停止、未使用

③緊急

放送時に、アッテネーターを有効にするか無効にするかを設定します。 アッテネーターを有効にするときは、チェックを外します。(緊急なし) アッテネーターの設定に関係なく常に最大音量で放送するときは、チェックを入れます。(緊急あり) (デフォルト:緊急あり)

設定範囲 緊急あり、緊急なし

④ 音源番号

内蔵音源の種類を設定します。(デフォルト:メッセージ1~3)

| 設定範囲 | メッセージ1~10 [緊急メッセージー覧] 番号 名 称 内容 チャイム ウエストミンスターの鐘 1 訓練放送です。【第1シグナル】火事です、火事です、火災が発生しま 火災訓練 [男声] 2 した。落ち着いて避難してください。【第2シグナル】 訓練放送です。【NHK チャイム音】 地震訓練 [男声] 3 地震です。落ち着いて身を守ってください。(2回繰り返し) 防犯(学校)[男声] 【防犯警報音】 緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。 4 まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付 5 放課後(学校)[女声] けをして早く帰りましょう。 【防犯警報音】緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってくだ 防犯(一般)[男声] 6 さい。 7 蛍の光 蛍の光 本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許し 開店(店舗)[女声] 8 になる限り、どうぞごゆっくりお買い物をお楽しみください。 本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越し 閉店(店舗)[女声] 9 を従業員一同、こころよりお待ち申し上げております。 リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょ 10 省エネ (一般) [女声] う。また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。

⑤ 個別/グループ

出力回線を個別またはグループに設定します。(デフォルト:グループ)

設定範囲 | 個別、グループ

⑥個別/グループ番号

出力回線を設定します。 設定可能な回線番号は局数によって決まります。(📭 P. 22「出力回線名称設定」) (デフォルト:グループ 100)

[個別の場合]

│設定範囲 │1~出力回線最大数

[グループの場合]

| 設定範囲 | 1 ~ 100

⑦回線数、回線選択表示

緊急放送スイッチに設定された出力回線数と出力先を表示します。
■ チャイムスイッチ設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「チャイムスイッチ設定」をクリックすると、チャイムスイッチ 設定画面が表示されます。

FS-1000本体と非常用リモコンのチャイムスイッチおよび業務用リモコンのチャイムキーを設定します。



ご注意

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。



①チャイム1

チャイム1スイッチの設定を行います。(デフォルト:チャイム1)

設定範囲 | 未使用、チャイム1~4*

②チャイム2

チャイム2スイッチの設定を行います。(デフォルト:チャイム2)

| 設定範囲 | 未使用、チャイム1~4*

* チャイム1~4の音源は以下のとおりです。 チャイム1:上り4音 チャイム2:下り4音 チャイム3:2音 チャイム4:ゴング

|制御入力設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「制御入力設定」をクリックすると、制御入力設定画面が表示されます。



①名称

制御入力の名称を設定します。

設定範囲	半角 32 文字以内、全角 16 文字以内
デフォルトは	、以下のとおりです。
No. 1 ~	10 :制御入力1~10
No. 11 ~	~ 20:接点式 RM1 ~ 10
No. 21	:接点式 RM 一斉
No. 22、	23 :接点式 RM チャイム 1、2
No. 24	:地震放送入力
No. 25	:電話ページング放送入力
No. 26	:タイマー放送入力
No. 27	:外部マイク放送入力

※ No. 1 ~ 27 は FS-1000 本体端子部の各端子に対応します。(📭 次ページ)



2 用途

制御入力の用途を設定します。 各制御入力端子に割り当てられる用途は右表 のとおりです。 「地震放送」は、No. 24(FS-1000本体の緊急

地震放送接点入力端子)にのみ設定できます。

ご注意 緊急地震放送を行う場合は、No. 24の用途を 「地震放送」に設定してください。 緊急地震放送を行わない場合は、「未使用」に 設定してください。 用途を「地震放送」に設定すると、緊急放送 スイッチ4の用途は自動的に「地震放送停止」 になります。 (■ጃ P. 35)

[制御入力端子と端子に割り当てられる機能の一覧]

用 途 制御入力端子	電話 PG 放送	タイマー放送	接点 RM 放送	接点 RM チャイム	EXマイク	BGM 放送	地震放送	緊急放送	緊急放送停止	未使用
制御入力1~10	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	$ \times $	\bigcirc	\bigcirc	\times	\bigcirc	0	\bigcirc
接点式 RM1 ~ 10	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\times	0	\bigcirc	\times	0	0	\bigcirc
接点式 RM 一斉	0	0	0	\times	0	\bigcirc	\times	0	0	\bigcirc
接点式 RM チャイム 1、2	0	0	0	0	0	\bigcirc	×	0	0	\bigcirc
緊急地震	\times	\times	\times	\times	\times	\times	0	\times	\times	\bigcirc
電話ページング	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\times	0	\bigcirc	\times	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
タイマー	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\times	0	\bigcirc	\times	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
外部マイク	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	Х	0	\bigcirc	Х	0	\bigcirc	\bigcirc

設定範囲 電話ページング放送、タイマー放送、外部マイク放送、接点式 RM 放送、 接点式 RM チャイム、BGM 放送、地震放送、緊急放送、緊急放送停止、未使用

3番号

詳細な機能を設定します。用途が「接点式 RM チャイム」「地震放送」「緊急放送」「緊急放送停止」のと きのみ設定可能です。

用途により、設定できる番号は異なります。

[用途が「接点式 RM チャイム」の場合]

接点式 RM チャイム端子をメイクしたときに鳴らすチャイムの音源を設定します。

設定範囲 1(上り4音)、2(下り4音)、3(2音)、4(ゴング)

[用途が「地震放送」の場合]

緊急地震放送時に鳴らすチャイムの音源を設定します。(■③ 次ページ「緊急地震放送のシグナル音に関す る基準」)

設定範囲 | 1(NHK チャイム音)、2(REIC サイン音)

緊急地震放送のシグナル音に関する基準

緊急地震放送のシグナル音は、原則として、日本放送協会が作成した報知音(NHK チャイム音)を使用し てください。ただし、NHK チャイム音は、「緊急地震速報(警報)」*1に整合している場合の使用に限定 されるため、「緊急地震速報(警報)」*1に整合していない場合や、騒音などで NHK チャイム音では聞き 取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会(REIC)が作成したサイン 音を使用してください。

ご注意

- ●緊急地震放送の NHK チャイム音は、「緊急地震速報(警報)」*1 または、予測される震度 5 弱以上の「緊急地震速報(業)」*2 の場合以外は使用禁止です。
- ●NHK チャイム音の著作権は、日本放送協会に属します。
- REIC サイン音の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会に属します。
- *1 最大震度5 弱以上と予想した場合に、予想した震度が4 以上の地域に対して気象庁が発表します。気象 業務法に基づき、気象庁のみが発表します。
- * ² 許可事業者が提供する緊急地震速報。予報内容についての責任は、当該許可事業者が負います。

[用途が「緊急放送」または「緊急放送停止」の場合] 対応する緊急放送スイッチの番号を設定します。

設定範囲 1、2、3、4

ご注意

- ●機能が「地震放送停止|または「未使用|に設定されている緊急放送スイッチの番号は設定できません。
- 業務停電放送として制御入力から緊急放送を行う場合は、業務停電放送を起動可能な制御入力の用途に 割り当てる必要があります。

④緊急

放送時に、アッテネーターを有効にするか無効にするかを設定します。 アッテネーターを有効にするときは、チェックを外します。(緊急なし) アッテネーターの設定に関係なく常に最大音量で放送するときは、チェックを入れます。(緊急あり) (デフォルト:緊急なし)

| 設定範囲 | 緊急あり、緊急なし

ご注意

- 用途を「地震放送」、「BGM 放送」、「接点式 RM チャイム」、「緊急放送停止」、「未使用」にしたときは変 更できません。
- ●用途を「緊急放送」にしたときは、対応する緊急放送スイッチの設定に従います。
- ⑤ 個別/グループ
 - 出力回線を個別またはグループに設定します。

| 設定範囲 | 個別、グループ

ご注意

用途を「接点式 RM チャイム」、「緊急放送」、「緊急放送停止」、「未使用」にしたときは設定できません。

 ⑥回線/グループ番号

出力回線を設定します。

設定可能な回線番号は局数によって決まります。(INT P. 22 「出力回線名称設定」)

[個別の場合]

| 設定範囲 | 1 ~ 出力回線最大数

[グループの場合]

| 設定範囲 | 1 ~ 100

ご注意

用途を「接点式 RM チャイム」、「緊急放送」、「緊急放送停止」、「未使用」にしたときは設定できません。

⑦回線数、回線選択表示

各制御入力に設定された出力回線数と、出力先を表示します。

| 制御出力設定

メニュー項目の「スイッチ・制御設定」ー「制御出力設定」をクリックすると、制御出力設定画面が表示されます。



①接点名称

制御出力の名称を設定します。(デフォルト:制御出力1~1)

設定範囲 | 半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

2 用途

制御出力の用途を設定します。

記中的田	音声警報出力中、発報放送中、火災放送中、非火災放送中、火災一斉移行、非常マイク放送中、
戓化軋団	業務放送中、業務緊急放送中、地震放送中、異常発生中、保守点検中、未使用

デフォルトは、比	」下のとおりです。
制御出力 1	:音声警報出力中
制御出力 2	:発報放送中
制御出力3	:火災放送中
制御出力 4	:非火災放送中
制御出力 5	:火災一斉移行
制御出力 6	:非常マイク放送中
制御出力 7	:地震放送中
制御出力 8	:業務放送中
制御出力 9	:業務緊急放送中
制御出力 10	:保守点検中
制御出力 11	:異常発生中

ご注意

制御出力 11 は他の端子と異なり、アナログ一斉放送中に強制的にメイクする仕様になっています。 他の状態出力に設定できますが、アナログ一斉放送中にも強制的にメイクします。 FS-1000本体端子部



※ 制御出力端子の接続には、別売の YR-200 が必要です。 ※ 制御出力端子の配列は以下のとおりです。

GND	制御出力	制御出力	制御出力	制御出力	制御出力
	2	4	6	8	10
制御出力	制御出力	制御出力	制御出力	制御出力	制御出力
1	3	5	7	9	11

非常放送設定

■ 非常系統名称設定

メニュー項目の「非常放送設定」ー「非常系統名称設定」をクリックすると、非常系統名称設定画面が表示 されます。



①非常系統名称

非常系統名称を設定します。(デフォルト:非常系統1~30)

|設定範囲 | 半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

②階名称

階メッセージの名称を設定します。

│ 設定範囲 │ 半角 32 文字以内、全角 16 文字以内

デフォルトは のとおりです。

番号	名称
1	地下1階
2	地下 2 階
3	地下 3 階
4	地下4階
5	地下 5 階
6	1 階
7	2 階
8	3 階
9	4 階
10	5 階
11	6 階
12	7 階
13	8 階
14	9 階
15	10 階
16	11 階
17	12 階
18	13 階
19	14 階
20	15 階
21	16 階
22	17 階
23	18 階
24	19 階
25	20 階
26	21 階
27	22 階
28	23 階
29	24 階
30	25 階

番号	名称
31	26 階
32	27 階
33	28 階
34	29 階
35	30 階
36	屋上
37	駐車場
38	地下駐車場
39	屋上駐車場
40	バックヤード
41	エントランスホール
42	体育館
43	体育館1階
44	体育館2階
45	講堂
46	階段
47	東階段
48	西階段
49	南階段
50	北階段
51	中央階段
52	塔屋
53	エスカレーター
54	エレベーター
55	エレベーターシャフト
56	エレベーター機械室
57	機械室
58	風除室
59	本館地下1階
60	本館1階

番号	名称
61	本館2階
62	本館3階
63	本館4階
64	本館5階
65	本館6階
66	本館屋上
67	本館塔屋
68	本館階段
69	本館エレベーター
70	新館地下1階
71	新館1階
72	新館2階
73	新館3階
74	新館4階
75	新館5階
76	新館 6 階
77	新館屋上
78	新館塔屋
79	新館階段
80	新館エレベーター

※ 番号: 階メッセージ番号 名称: 階名称



メニュー項目の「非常放送設定」ー「非常放送設定」をクリックすると、非常放送設定画面が表示されます。

FS-1000 Manager -	State of the local division of the local div	- • ×
ファイル(F) 通信(C) ツー	ル(T) ヘルプ(H)	
□ ■ 機器構成設定	非常放送設定	
□ データ情報 □ 一 一 機器構成	手動·発信機起動 発報 → 1	
□- ≟ スイッチ・制御設定		
□ 出力回線グループ設定	燃和器発報版及透 (連動) ▼	
□ 一斉スイッチ設定 □ 放送階選択スイッチ設定	発報放送線返し設定なし ・ 3	
□ 案急放送スイッチ設定		
目 チャイムスイッチ設定 目 制御入力設定	発報版文送回数 2 < 5	
□ 制御出力設定		
□ 非常系統名称設定		
····· ▶ 非常系統EL設定	一斉移行機能 使用する ・	
□ 連動系統設定 □		
□ 業務放送動作設定		
□-□ 隆元度設定		
□	自火報階邊避死運動 • 10	
□ 履歴ファイル表示		
ヨ オンライン履歴表示 ヨ システム状態表示		
		□通信:切断:

①手動·発信機起動

発信機、非常電話、または手動で非常放送を起動したときの音声警報放送を設定します。 (デフォルト:発報)

発報:起動時に感知器発報放送をします。(「発報」モード) 非常電話や発信機からの起動時には、感知器発報放送に続いて火災放送をします。 火災:起動がかかると、感知器発報放送なしに、火災放送をします。(「火災|モード)

設定範囲 発報、火災

② 感知器発報放送

感知器起動時に感知器発報放送をするか、しないかを設定します。(デフォルト:連動)

 連動:感知器での起動時に、感知器発報放送をします。(「発報連動」モード)
 停止:感知器での起動時に、感知器発報放送をしません。(「発報連動停止」モード)
 操作する人に対して、前面操作部のモニタスピーカーから「火災音信号」と現場の確認と操作 を指示する「音声メッセージ」が出ます。

一型空笛田	() 油新 () 습ル		
政 史 肥 西 一	進劉、 「 山		

③発報放送繰り返し設定

感知器発報放送を繰り返して放送するかしないかを設定します。(デフォルト:なし)

なし : 感知器発報放送を繰り返し回数だけ放送し、その後、無音になります。

- 繰り返し:感知器発報放送を繰り返し回数だけ放送し、その後、一定の間隔をおいて再び放送します。 ただし、非常マイクによる放送後は、発報放送は繰り返し放送されません。
- 継続 :感知器発報放送を繰り返し回数だけ放送し、その後、一定の間隔をおいて再び放送します。 非常マイクによる放送後も、発報放送は繰り返し放送されます。

設定範囲	なし	繰り返し、	継続	
			ルビルリレ	

④ 発報放送間隔

発報放送繰り返し設定を「繰り返し」または「継続」に設定したときの、繰り返し間隔(インターバル) を設定します。(デフォルト:0 秒)

┃ 設定範囲 ┃ 0 秒~ 5 分 59 秒 ※ 1 秒ステップ

⑤ 発報放送回数

感知器発報放送の繰り返し回数を設定します。(デフォルト:2回)

設定範囲 2~5

⑥火災放送移行タイマー

発報放送の開始または火災音信号の鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始するまでの火災放送 移行タイマーの時間を設定します。(デフォルト:2分)

2~5分に設定するとき以外は、所轄の消防署に確認の上、設定を行ってください。

設定範囲	1 秒~ 99 分 59 秒	※1秒ステップ
------	----------------	---------

⑦一斉移行機能

火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始す るための一斉放送移行タイマー機能の入/切を設定します。(デフォルト:使用する)

設定範囲 使用する、使用しない

⑧一斉移行タイマー

ー斉移行機能を「使用する」にしたときの、一斉移行タイマーの時間を設定します。(デフォルト:2分) 0秒にしたときは、火災放送の開始と同時に一斉放送になります。

0秒または2~5分に設定するとき以外は、所轄の消防署に確認の上、設定を行ってください。

設定範囲 | 0 秒~ 99 分 59 秒 ※ 1 秒ステップ

9 警報言語

音声警報放送をする言語を設定します。日本語に加えて、英語・中国語・韓国語も設定できます。(デフォ ルト:日本語)

日本語 :日本語で音声警報メッセージが流れます。

- 二ヶ国語:日本語・英語で音声警報メッセージが流れます。
- 三ヶ国語:日本語・英語・中国語で音声警報メッセージが流れます。

四ヶ国語:日本語・英語・中国語・韓国語で音声警報メッセージが流れます。

設定範囲 日本語、二ヶ国語、三ヶ国語、四ヶ国語

ご注意

- ●英語以外の外国語によるメッセージを放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。
- ●「三ヶ国語」「四ヶ国語」に設定したいときは、「音源設定」で「階メッセージ(三ヶ国語)」または「階メッ セージ(四ヶ国語)」から必要な音源を設定してください。(P.60「音源設定」)
- ●「三ヶ国語」または「四ヶ国語」の状態から、「日本語」または「二ヶ国語」に変更すると、「階メッセージ(三ヶ国語)」「階メッセージ(四ヶ国語)」および「音声警報メッセージ」の三ヶ国語・四ヶ国語の設定が破棄されます。

⑩ 自火報階選択連動

自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに、非常放送をする階の選択のしかたを設定します。 (デフォルト:連動)

連動:出火階(起動のあった階)と、その直上階などの連動階に放送されます。(「連動」モード) 一斉:すべての階に放送されます。(「連動一斉」モード)

設定範囲 | 連動、一斉

①手動階選択連動

放送階選択スイッチを操作したときの階の選択のしかたを設定します。(デフォルト:階別) 階別:手動で選択した放送階のみに放送されます。 連動:手動で選択した階と、その直上階などの連動階に放送されます。

設定範囲 階別、連動

二度押し復旧

選択済みの放送階選択スイッチを再度押したときに、回線選択の解除を許可するか、禁止するかを設定します。(デフォルト:禁止)

許可:二度押しによる回線選択の解除を許可します。

禁止:二度押しによる回線選択の解除を禁止します。

「禁止」に設定すると、二度押ししたときのスイッチ操作は無効となります。

設定範囲 許可、禁止

■ 非常系統 EL 設定

メニュー項目の「非常放送設定」ー「非常系統 EL 設定」をクリックすると、非常系統 EL 設定画面が表示されます。

FS-1000 本体の階別信号入力端子(EL 端子)がメイクされたとき、この非常系統をもとにして、出力回線の 選択を行います。

音声警報の階情報は、メイクされた EL 端子に設定された階メッセージ番号により選択します。



①非常系統

FS-1000本体の EL 端子に非常系統を設定します。

② 階メッセージ

自動火災報知設備の起動時に、出火階と連動階へ放送する階情報メッセージを設定します。

設定範囲 未使用、1 ~ 80 ※ 名称は非常系統名称設定で登録した内容となります。



メニュー項目の「非常放送設定」ー「連動系統設定」をクリックすると、連動系統設定画面が表示されます。 非常系統(出火系統)に連動して選択される、非常系統(連動系統)を設定します。



○:出火系統を表しています。左欄の非常系統と対応します。
 ●:連動系統を表しています。上欄の非常系統と対応します。

上図の例では、出火系統「非常系統5」の連動系統が「非常系統6、7、8」となります。

● 設定のしかた

[連動系統を個別で追加するときの例]

7 追加したい非常系統のセルをクリックする。 選択されたセルの色が青色になります。



非常系統を選択した状態でダブルクリックするか、または Enter キーを押す。 選択した箇所に「●」がつき、連動系統に追加されます。



(非常系統1の連動系統に非常系統3を追加した例)

メモ

2

選択されている箇所をダブルクリック、または Delete キーを押すと選択が解除されます。

2

1 追加したい系統のセルをドラッグする。 選択されたセルの色が青色になります。

(非常系統1~8を選択した例)



Enter キーを押すか、またはマウスを右クリックし「選択エリア設定」をクリックする。



選択した箇所に「●」がつき、連動系統に追加されます。

FSI ES-1000 Manager																									-						
PS-1000 Manager -												_																			
ファイル(F) 通信(C) ツー	il(T) ∧lJ(H)	_			_		_				_		_		_	_			_		_			_		_			_	_	
日 - 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 1 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田		1:非常系統1	2.非常系統2	8.非光系统8	4:非光系統4	5.非常系統5	6:非光采統6	7.非常系統7	8.非常系統8	9.非光系统9	10:非常采続10	11:清光光彩11	12:非常采統12	13:非常系統13	14:非常采载14	15:非常系統15	16:非常采続16	17:非常采続17	18:非常系統18	18:非兆兆約18	20:非常系統20	21:非常系統21	22:非常采統22	23:非常系統23	24:非常系統24	25:非常系統25	26:非常系統26	27:非常系統27	28:非常采統28	29:非常系統29	30:非常系統30
□ □ □ 一斉スイッチ設定	1非常系統1	0	٠	٠																											
	2非常系統2		0	۲																											
● 業務RM本体設定 業務RM2イッチ設定	3.非常系統3			۲	٠																										
□ 緊急放送スイッチ設定	4非常系統4				0	٠																									
	5:非常系統5					0	٠																								
·····································	6:非常系統6						۲	٠																							
□ 册 非常放送設定	7:非常系統7							0	٠																						
□ 非常系統名称設定	8.非常系統8																														
→ 非常放送設定	9.非常系統9	0	•	0	0	•	•	•	•	0	2																				
▶ 連動系統設定	10非常系統10							-			0	٠																			
□ ● 業務放送設定	11:非常系統11											0	•																⊢		
·····································	12.非常系統12												0	٠																	
□- 1 音源設定	13:非常系統13								-					0	•	_													⊢		
□ 音源データ編集	14非常杀統14														0	•													-		
□> メンテナンス □	15非常系統15								-							0	•												⊢		
	16:非常系統16																۲	•													
──目 システム動作確認モード	17.非常系統17																	0	•										⊢		
□□ オンライン履歴表示	18非常糸統18																		0	•											
= 77724728367	19.非常系統19																			۲	•	-									
	20.非常系統20																				0	•									
	21:非常系統21																					0	٠						\vdash		
	22非常系統22																						0	•							
	23非常系統23																							۲	٠						
	24非常系統24																								0	٠					
	25:非常系統25																									۲	٠				
	26非常系統26																										0	٠		-	(第)(言)
		_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_))))))))))))))))))))))))))))))))))))))

(非常系統9の連動系統に非常系統1~8を追加した例)

メモ

解除したい回線を選択し Delete キーを押すか、またはマウスの右クリックで「選択エリア解除」を選択 すると、連動系統の選択を解除できます。

業務放送設定

業務放送の動作と音源の優先度を設定します。

|業務放送動作設定

メニュー項目の「業務放送設定」ー「業務動作設定」をクリックすると、業務動作設定画面が表示されます。 業務放送時の BGM 制御、連動チャイム、および非常断 24 V の設定をします。

ご注意

機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。



※上の画面は、設定後の画面例です。ボイススイッチ設定は、BGM 制御設定で「ボイススイッチ」を選 択したときのみ表示されます。

① BGM 制御設定

BGM 放送と各放送とが同時に行われたときに、BGM 放送をどのように制御するかを選択します。 音源によって設定できる項目が異なります。

[音源が本体放送、非常 RM 放送、業務 RM 放送の場合]

(本体放送・非常 RM 放送時のデフォルト:ボイススイッチ、業務 RM 放送時のデフォルト:アナキーパ)

設定範囲 アナキーパ、ボイススイッチ*、ミュート、カット、制御なし

*音源が業務 RM 放送の場合は、「ボイススイッチ」は選択できません。音源が本体放送、非常 RM 放送の 場合は、FS-1000 本体のファームウェアバージョンが 2.00 以降のときのみ、ボイススイッチ機能を使用 できます。

BGM 制御設定により、各放送は次ページに示す動作になります。



※ボイススイッチには連動チャイムはありません。 連動チャイムを使用する場合は、アナキーパを利用してください。





- *1 RM-200F で AUX 入力を使用する場合。
- *2開始/終了チャイムを「未使用」に設定しているときは、トークスイッチ ON/OFF 時または接点メイク/ ブレイク時にチャイム音を鳴らしません。
- *3 減衰(2秒)・復旧時間(5秒)・減衰量(-40 dB)は固定です。
- ** 業務用リモコンのトークスイッチの設定が PTT 式の場合は、トークスイッチを OFF にすると、自動的に 放送階選択が解除されます。
- *5 あらかじめ音声が入力されている場合は、放送階選択が行われた時点でボイススイッチ機能が働きます。

[音源が接点式 RM 放送、タイマー放送、電話ページング放送、外部マイク放送の場合]

(デフォルト:ミュート)

設定範囲 | ボイススイッチ*1、ミュート、カット、制御なし

*1 音源が外部マイク放送以外の場合は「ボイススイッチ」を選択できません。音源が外部マイク放送の 場合は、FS-1000 本体のファームウェアバージョンが 3.01 以降のときのみ、ボイススイッチ機能を使 用できます。

BGM 制御設定により、各放送は以下に示す動作になります。



^{*2} 減衰(2秒)・復旧時間(5秒)・減衰量(-40 dB)は固定です。

^{*&}lt;sup>3</sup>開始/終了チャイムを「未使用」に設定しているときは、接点メイク/ブレイク時にチャイム音を鳴 らしません。



- *3 開始/終了チャイムを「未使用」に設定しているときは、接点メイク/ブレイク時にチャイム音を鳴 らしません。
- ② チャイム連動設定 起動チャイム

業務放送を開始するときに連動する開始チャイムの設定を行います。(デフォルト:未使用)

ご注意

- BGM 制御設定を「ボイススイッチ」に設定した場合は、設定できません。
- 未接続のユニットは、設定できません。

③チャイム連動設定 終了チャイム

業務放送を終了するときに連動する終了チャイムの設定を行います。(デフォルト:未使用)

 ដ្រៃ定範囲 | 未使用、チャイム1~4

 ギャイム1~4の音源は以下のとおりです。
 チャイム1:上り4音
 チャイム2:下り4音
 チャイム3:2音
 チャイム4:ゴング

ご注意

- BGM 制御設定を「ボイススイッチ」に設定した場合は、設定できません。
- ●未接続のユニットは、設定できません。

④非常断 24 V 設定

業務放送時に制御される DC24 V の出力設定をします。(デフォルト:継続)

継続 :業務放送中でも、DC24 V が出力されます。
 カット :業務放送中は、DC24 V を出力しません。
 緊急カット:通常放送モードの業務放送時は DC24 V を供給、業務緊急モードの業務放送時は DC 24 V の供給を遮断します。

設定範囲 継続、カット、緊急カット

ご注意

上記の設定に関係なく、非常放送中は DC24 V をカットし、停電待機中は DC24 V が出力されます。

⑤ ボイススイッチ設定(BGM 制御設定で「ボイススイッチ」を選択したときのみ)

	-7	ボイスス・	イッチ設定—						
(a)	(本体	非常RM1	非常F	M2	非常RM3	非常	RM4	
(b)		感度			-30	idВ	~)	初期化) (i
(C)		BGM)	藏金量		-4(ldВ	\sim		
(d)		ホール	۲		2秒	:	~		
(e)		BGMi	刻帚時間		1秒	:	~		
(f)		減衰開	肺治病の		0秒	:	~		
(g)		減衰時	間		0秒	:	~		
(h)		復帰開	肺感度		-40	IdB	\sim		

(a) ユニット選択タブ

「本体」(FS-1000)、「非常 RM1 ~ 4」(非常用リモコン)、または「外部マイク」のボイススイッチ設 定画面を切り換えます。 BGM 制御設定で「ボイススイッチ」が選択されている機器のみが表示されます。

(b) 感度

(c) BGM 減衰量

ボイススイッチが機能したときの BGM の減衰量を設定します。(デフォルト:–40 dB) 「設定範囲 │ – ∞(カット)、–50 ~ –10 dB

(d) ホールド

(e) BGM 復帰時間

BGM が元のレベルへ復帰するまでの時間を設定します。(デフォルト:1秒) | 設定範囲 | 0~10秒

(f) 減衰開始待ち時間

トーク開始から減衰が始まるまでの時間を設定します。(デフォルト:0秒) 「設定範囲 | 0~10秒

(g) 減衰時間

元のレベルから BGM 減衰量(c) で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定します。 (デフォルト:0秒)

設定範囲 | 0 ~ 10 秒

(h) 復帰開始感度

ボイススイッチを終了する入力信号のレベルを設定します。(デフォルト:-40 dB)

| 設定範囲 | -50 ~ 0 dB

メモ

ボイススイッチを継続して機能させるために、通常、復帰開始感度(h)は感度(b)の設定よりも低い 値に設定します。

(i) 初期化

ボイススイッチ設定の各設定値をデフォルトに戻します。



メニュー項目の「業務放送設定」ー「優先度設定」をクリックすると、優先度設定画面が表示されます。 音源優先度の設定、同一優先度の制御設定をします。 優先度についての詳細は、別冊の操作説明書「放送の優先度」をお読みください。

ご注意

- ●機器構成設定で未設定のユニットについては設定できません。
- BGM 放送には優先度はありません。BGM 制御設定に従います。

(INTIAN INTIANT)

● RM-1100 同士の優先度については、別冊の設置説明書「複数台接続時の優先順位の設定」をお読みください。

		(1)			(2)	
🖉 FS-1000 Manager -					Contract in	
 ファイル(<u>E</u>) 通信(<u>C</u>) ツール	ν(I) ^	リレプ(<u>H</u>)				
□ - 王 機器構成設定		立酒	值生度	值生度	同一值生度新作	
🔲 データ情報		日本 ・	愛元度	慶元辰 1	回一 愛元度動/F 後期の 債生	
□		非常PM1批译	2	2	後期的優先	
□ 出力回線名称設定		非常RM2粒送	4	3	後取り優先	
	4	非常RM3枚送	5	4	後取り優先	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	5	非常RM4放送	6	5	後取り優先	
□ 業務RM本体設定	6	業務RM1放送	7	6	後取り優先	
ーロ 業務RMスイッチ設定	7	業務RM2放送	8	7	後取り優先	
	8	業務RM3放送	9	8	後取り優先	
□□ 制御入力設定	9	業務RM4放送	10	9	後取り優先	
□ 制御出力設定	10	接点式RM放送	11	10	後取り優先	
□ 〒 非常叙述設定	11	タイマー放送	1	11	後取り優先	
□ 非常放送設定	12	電話ページング放送	12	12	後取り優先	
□ 非常系統EL設定	13	外部マイク放送	13	13	後取り優先	
□_影 葉務放送設定	14	緊急放送1	1	14	後取り優先	
□ 業務放送動作設定	15	緊急放送2	1	15	後取り優先	
	16	緊急放送3	1	16	後取り優先	
□□ 音源設定 □ 音源データ編集				17	後取り優先	
- ペ メンテナンス				18	後取り優先	
□ 履歴ファイル表示				19	後取り優先	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				20	後取り優先	
□ システム状態表示						
						通信:切断

①優先度

優先度を選択します。数値が小さいほど、優先度は高くなります。 表のタイトル列をクリックするたびに、優先度の表示が昇順または降順に切り換わります。

| 設定範囲 | 1 ~ 20

デフォルトの優先度設定は以下のとおりです。

				_		
音源	優先度	音源	優先度		音源	
本体放送	2	業務 RM2	8		外部マイク	
非常 RM1	3	業務 RM3	9		緊急放送 1	
非常 RM2	4	業務 RM4	10		緊急放送 2	
非常 RM3	5	接点式 RM	11		緊急放送3	
非常 RM4	6	タイマー	1		緊急放送 4	
業務 RM1	7	電話ページング	12			

- 優先度の高い入力音源がすでに放送されている回線には放送できません。
- 優先度の低い入力音源がすでに放送されている回線には、割り込んで放送します。
- ●同じ優先度を設定した場合は「同一優先度動作」によって放送の優先が決まります。

2 同一優先度動作

複数の入力音源に同じ優先度を設定した場合に、どの放送を優先させるのか(制御方式)を設定します。 (デフォルト:後取り優先)

後取り優先:優先度の同じ入力音源がすでに放送されている回線には、割り込んで放送します。 優先放送後、元の放送は復帰します。

先取り優先:優先度の同じ入力音源がすでに放送されている回線には放送できません。

設定範囲 後取り優先、先取り優先

音源設定

■音源データ編集

メニュー項目の「音源設定」ー「音源データ編集」をクリックすると、音源データ編集画面が表示されます。 音源データを別の音源データに変更したり、複数の音源データを組み合わせて新たな音源データを作成して 変更したりすることができます。

ご注意

- ●新たに作成した音源データは、すでにある音源データと変更はできますが、新規メッセージとして追加登録はできません。
- 音源データの合計サイズが 200 MB *を超えると、FS-1000 本体に格納できません。合計サイズが 200 MB * 以下になるように登録または編集を行ってください。
 - * 200 MB に対応しているのは、FS-1000 本体が FS-1010FU の場合は生産ロット番号が 17F(2017 年 6 月 生産を表す)で始まるもの以降、FS-1020FU および FS-1030FU の場合は生産ロット番号が 17H(2017 年 8 月生産を表す)で始まるもの以降です。

上記より前のものについては、音源データの合計サイズは 60 MB までとなっています。

生産ロット番号は、FS-1000本体の操作部扉を開いた裏面の右下に貼ってあるシールに記載されています。

メモ

編集した音源データは、設定データの保存時に、同じフォルダー内の edit_data フォルダー内に保存されます。
(1)

FS-1000 Manager -							-	
ファイル(E) 通信(<u>C</u>) ツール(<u>T</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)							
	階メッセージ	(日本語) 階メッセー	ジ(ニヶ国語) 階メッセージ(三ヶ国	国語) 階メッセー	-ジ(四ヶ国語) 音声警報メッセ	2ージ 緊急メッセージ チ	ヤイム 点検音源	
□ データ情報	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ		サイズ	-	- 編集(F)
□ 1xtern#0x	▶ 1	地下1階	WJEL_001.wav	76 KB	MJEL_001.wav	68 KB		amose (g)
□ 出力回線名称設定	2	地下2階	WJEL_002.wav	70 KB	MJEL_002.wav	62 KB		
□ 出刀回線クルーフ設定 □ □ □ 査7イッチ設定	3	地下3階	WJEL_003.wav	79 KB	MJEL_003.wav	69 KB		登録(<u>R</u>)
- □ 放送階選択スイッチ設定	4	地下4階	WJEL_004.wav	81 KB	MJEL_004.wav	72 KB		
— □ 業務RM本体設定	5	地下5階	WJEL_005.wav	72 KB	MJEL_005.wav	65 KB		育川除余(<u>D</u>)
	6	1階	WJEL_006.wav	53 KB	MJEL_006.wav	48 KB		
	7	2階	WJEL_007.wav	48 KB	MJEL_007.wav	44 KB		戻す(<u>B</u>)
一日 制御入力設定	8	3階	WJEL_008.wav	58 KB	MJEL_008.wav	51 KB		
	9	4階	WJEL_009.wav	58 KB	MJEL_009.wav	49 KB		■式 時 (A)
	10	58皆	WJEL_010.wav	50 KB	MJEL_010.wav	46 KB		Broker
一日 非常放送設定	11	67皆	WJEL_011.wav	56 KB	MJEL_011.wav	54 KB		(高止(S)
— □ 非常系統EL設定	12	7階	WJEL_012.wav	55 KB	MJEL_012.wav	51 KB		UTE (S
◎ 葉務放送設定	13	8階	WJEL_013.wav	56 KB	MJEL_013.wav	49 KB		
──□ 業務放送動作設定	14	98皆	WJEL_014.wav	57 KB	MJEL_014.wav	49 KB		
□ 優先度設定	15	10階	WJEL_015.wav	56 KB	MJEL_015.wav	55 KB		
 □ 目/0537年 ● 音源データ編集 	16	11階	WJEL_016.wav	73 KB	MJEL_016.wav	65 KB		貼り付け(P)
メンテナンス	17	12階	WJEL_017.wav	68 KB	MJEL_017.wav	63 KB		
一日 履歴ファイル表示	18	13階	WJEL_018.wav	75 KB	MJEL_018.wav	67 KB		合計サイズ:
	19	14階	WJEL_019.wav	77 KB	MJEL_019.wav	69 KB		83.5MB
一日 オンライン履歴表示	20	15階	WJEL_020.wav	67 KB	MJEL_020.wav	63 KB		
□ システム状態表示	21	16階	WJEL_021.wav	73 KB	MJEL_021.wav	70 KB		
	22	17階	WJEL_022.wav	75 KB	MJEL_022.wav	71 KB		
	23	18階	WJEL_023.wav	75 KB	MJEL_023.wav	68 KB		
	24	19階	WJEL_024.wav	76 KB	MJEL_024.wav	72 KB		
	25	20階	WJEL_025.wav	67 KB	MJEL_025.wav	61 KB		
	26	21階	WJEL_026.wav	84 KB	MJEL_026.wav	80 KB		
	27	22階	WJEL_027.wav	79 KB	MJEL_027.wav	76 KB		
	28	23時	WLIEL 028 way	87 KB	M.IEL 028 way	81.KB	~	·

※ファイル名称は変更できません。

※ファイル名の最後に*が付いているファイルは、デフォルトの音源から変更があったことを示します。

①音源データ選択タブ

編集する音源データの種類を以下の項目から選択します。 階メッセージ(日本語)、階メッセージ(二ヶ国語)、階メッセージ(三ヶ国語)、 階メッセージ(四ヶ国語)、音声警報メッセージ、緊急メッセージ、チャイム、点検音源

ご注意

- ●日本語の音声警報メッセージを変更することはできません。
- 階メッセージ(三ヶ国語)、階メッセージ(四ヶ国語)、および音声警報メッセージの三ヶ国語・四ヶ国 語については、「警報言語」の設定(P.45)が「三ヶ国語」または「四ヶ国語」の場合のみ表示されます。
- ●業務用リモコン RM-200F、RM-200FW のチャイム音は変更できません。

② 編集ボタン

音源データの編集を行います。wav ファイルを組み合わせ て音源データを作成することができます。 編集したい音源データのファイル名称のセルをクリックし

て選択してから、このボタンをクリックしてください。 編集画面が表示されます。

- (a) 登録ボタン
 組み合わせに使用する wav ファイルを登録します。
 wav ファイルは番号順に連結されます。
- (b) 削除ボタン 選択した wav ファイルの登録を解除します。
- (c) 試聴ボタン
 登録した音源データを試聴します。
- (d) 停止ボタン 試聴中の音源データの再生を停止します。
- (e) 決定ボタン 登録した音源データを組み合わせて、放送で使用する音源データとして登録します。

ご注意

ファイル名称は、選択しているセルに表示されているファイル名称になり、変更はできません。

(f)キャンセルボタン

音源データの編集を中止して、編集画面を閉じます。

③登録ボタン

音源データの登録を開始します。読み込んだ音源データを選択した箇所に割り当てることができます。 登録したい箇所のファイル名称のセルをクリックして選択してから、このボタンをクリックしてください。 音源データを指定すると、放送で使用する音源データとして登録されます。

ご注意

ファイル名称は、選択しているセルに表示されているファイル名称になり、変更はできません。

④削除ボタン

登録した音源データを削除します。

マウスのドラッグや Shift キーによる範囲選択、または Ctrl キーによる複数選択をすることで、複数の音 源データを同時に削除することもできます。

ご注意

音声警報メッセージ、緊急メッセージ、チャイム、および点検音源は削除できません。

⑤ 戻すボタン

変更した音源データを、デフォルトの音源データに戻します。 マウスのドラッグや Shift キーによる範囲選択、または Ctrl キーによる複数選択をすることで、複数の音 源データを同時にデフォルトの音源データに戻すことも可能です。

⑥ 試聴ボタン

選択した音源データを試聴します。

- ⑦ 停止ボタン 試聴中の音源データの再生を停止します。
- 8 コピーボタン
 選択した箇所の音源データをコピーします。
- ⑨貼り付けボタン

コピーした音源データを選択した箇所に貼り付けます。

⑩合計サイズ

FS-1000 本体にアップロードする音源データの合計サイズが表示されます。



● 音源データ編集例1(既存の階メッセージを別途作成した階メッセージに変更する)

ここでは、例としてデフォルトの階メッセージ「新館エレベーター」を別途作成した階メッセージ「旧館エレベーター」に変更する手順を記載しています。

1 新規の設定データを作成するか、既存の設定データを開く。

ご注意

新たに作成した音源データは、すでにある音源データと変更はできますが、新規メッセージとしては追 加登録できません。

メモ

編集した音源データは、設定データの保存時に、同じフォルダー内の edit_data フォルダー内に保存され ます。

2 ファイル名称(女声)列の音源データ「WJEL_080.wav」を、別途用意した音源データに変更する。 *2-1* 80番「新館エレベーター」のファイル名称(女声)「WJEL 080.wav」をクリックする。

📳 FS-1000 Manager -							_	
ファイル(E) 通信(<u>C</u>) ツール(T)	ヘルプ(<u>H</u>)							
□	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセー	ージ チャイム 点検音源			
	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^	(狟集(F)
□ 1.300 1000 000 000 000 000 000 000 000 000	54	エレベーター	WJEL_054.wav	73 KB	MJEL_054.wav	65 KB		(m) (C)
□ 出力回線名称設定	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB		
□ 出刀回線グループ設定	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB		登録(<u>R</u>)
□ 加送階選択スイッチ設定	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB		
□ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		肖川余(<u>D</u>)
■ 業務RMスイッチ設定 ■ 野刍物送フイッチ設定	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		戻す(<u>B</u>)
	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ 制御出力設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		≡式預売(Δ)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_068.wav	92 KB		BACHEALLY
□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高正(S)
□ 非常系統EL設定 □ 速轴系統設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		1711.0
□ 影 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		⊐ピ–(©)
□ □ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□…」 百級設定	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(<u>P</u>)
□ ~ メンテナンス	70	新館地下1階	WJEL_070.wav	126 KB	MJEL_070.wav	116 KB		
□ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WJEL_071.wav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.7MB
	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
□ □ システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	79	新館階段	WUEL_070.ndt	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB		
	▶ 80	新館エレベーター	WJEL_080.wav	23 KB	MJEL_080.wav	113 KB		
					-		~	
							-	通信:切断:

ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)						
「「「様野様成設定」	Right out 7	7(日本語) 跳れいた。2		EZ合 Judz.	21 エルノレー 上於空海		
■ データ情報						H / -"	
□ 機器構成	番方	名称	/71ル名称(女声)	717	ノア1ル名称(男声)	<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	↑ 編集(E)
- 真 人1ッチ・制御殿定	54	104-94	WJEL_U54.wav	73 KB	MJEL_054.wav	00 KB	
	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB	登録(R)
──□ 一斉スイッチ設定	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB	77.01/(TA
□ 放送階選択スイッチ設定	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB	BURG(D)
	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB	Hubs(D)
□ 緊急放送スイッチ設定	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB	=+(n)
─ 目 チャイムスイッチ設定	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB	戻 9(B)
□ 制御入力設定	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB	
▲ 利仰出力設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB	=式I車(A)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB	Division (1)
□□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB	(高正(S)
□ 非常系統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB	1711.(0)
▶ 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB	
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB	⊐ピ-(C)
	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB	
☐ 音源設定 空源≓こ応律生	69	本館エレベーター	WJEL 069.wav	118 KB	MJEL 069.wav	109 KB	貼り付付け
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70	新館地下1階	WJEL 070.wav	126 KB	MJEL 070.wav	116 KB	
- □ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WJEL 071.wav	103 KB	MJEL 071.wav	95 KB	合計サイズ:
- 日 回線インピーダンス表示	72	新館2階	WJEL 072 way	98 KB	MJEL 072 way	91 KB	51.7MB
システム動作雑念モート	73	新館3階	W.IEL 073 way	107 KB	MJEL 073way	98 KB	
□ システム状態表示	74	新館4階	W.IEL 074 way	107 KB	M.IEL 074 way	96 KB	
	75	新館5階	WJEL 075 way	99 KB	MJEL 075 way	93 KB	
	76	新館部	W.IEL 076 way	106 KB	M.IEL 076 way	102 KB	
	77	新館屋上	W.IEL 077 way	110 KB	M.IEL 077 may	102 KB	
	79	*/18/注上 新館塔島	WIEL 079 way	07 KB	MIEL 079 way	20 KB	
	70	オイ1月10-101/王 本氏合合取りられ	WIEL 070 wav	104 KD	MIEL 070 Way	06 KD	
	79	*/18686F3	WJEL_078/Wav	104 KD	MUEL_073/WdV	30 KD	
	P 80	和昭エレヘーダー	WJEL_080/Wav	120 ND	MUEL_080/Wav	TIAND	~

2-3 別途用意した音源データが保存されているフォルダーを開き、対象の音源データを選択し、[開く] ボタンをクリックする。

ここでは、「旧館エレベーター(女声).wav」を選択します。

121 間 <		3
G ● ● ● ● FS1000 → 旧館エレペーター ▼	◆	P
整理 マ 新しいフォルダー	88 v 🗖 🔞)
 ★ お気に入り ダウンロード デスクトップ ● 最近表示した場 ● トキュメント ● ドキュメント ● ビデオ ● ミュージック 	べ替え: フォルダー ▼ プレビュ を表示す ファイル 選択し す。	こうをま
		h
ファイル名(N):	 ● 音源テータ (*.wav) ● 開く(0) ● キャンセル]

音源データが入れ換わります。 [試聴] ボタンを押すと、登録データの再生ができます。



階メッセージを新規の音源に変更しても、音源データのファイル名称は「WJEL 080.wav」のままで変更 されません。ただし、デフォルトの音源から変更すると、ファイル名称の後に「*」が付いて表示されます。

FS-1000 Manager -								
ファイル(E) 通信(C) ツール(I)	ヘルプ(<u>H</u>)							
□	階メッセー	(日本語) 酸すいわー?	(一に国語) 卒吉弊部のかっぷ	駅白いわっ				
- ロ データ情報	퓨모			+ / - "		#73		
	金 写	26か	/ア1ル治祢(以声)	91.A	ノア1ル名称(労声)	91.4	~	編集(<u>E</u>)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	94	10//-9-	WJEL_004,Wav	73 KB	WJEL_004.Wav	00 KB		
□ 出力回線グループ設定	50	エレベーダージャノト	WJEL_000.wav	33 ND	MJEL_055.Wav	03 ND		登録(R)
- 日 一斉スイッチ設定	50	エレハーダー版画室	WJEL_050.Wav	110 KD	MJEL_050.Wav	104 ND		
→ ■ 放达階選択人1ッチ設定 → ■ 業務RM本体設定	50	低快至	WJEL_057.wav	03 KB	MJEL_057.Wav	02 NB		買 6 余(D)
□ 業務RMスイッチ設定	50	用炉车主	WJEL_056.wav	71 ND	MJEL_056.wav	02 ND		
	09	本館地下1階	WJEL_009/WaV	123 KB	MJEL_009.Wav			戻す(B)
- □ +ヤイム/1ッ+設定 - □ 制御入力設定	00	本館「暦	WJEL_060.Wav	30 ND	MJEL_000.wav	91 KB		
□ 制御出力設定	01	(本)第5 29首 (十)9节 0月15	WJEL_001.Wav	30 ND	MJEL_001.wav	00 ND		
🗆 💏 非常放送設定	02	本館 4階 十磅 4階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_002.Wav	94 KB		試聴(<u>A</u>)
	03		WJEL_003/Wav	IUS KD	MJEL_003.Wav	92 KB		
□ 非常系統EL設定	04	本)昭0)皆 十9年6時5	WJEL_004.Wav	90 KB	MJEL_004.Wav	89 KB		停止(<u>S</u>)
□ 連動系統設定	00	本館の皆	WJEL_000Wav	TOTIND	WIJEL_000.Wav	98 KB		
	00	中諾屋上 士会送日	WJEL_000.wav	105 KB	MJEL_000.wav	99 KB		
● 果務成区動Fable	67	本路冶屋 士會時的	WJEL_067,Wav	92 KB	MJEL_007.Wav	80 KB		38-(Q)
□ 〕 音源設定	08	本館館段	WJEL_068Wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	09	本語エレベーター	WJEL_009.wav	118 KB	MJEL_009.wav	110 KB		貼り付け(円)
□	70	新聞地下間	WJEL_U/Uwav	126 KB	MJEL_070.wav			
□ □ □ □ □ 線インピーダンス表示	71	新聞	WJEL_U/IWav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		
──目 システム動作確認モード	72	第17月1日 2月2日 第1月1日 2月2日	WJEL_U/2.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51./MB
□ オンライン履歴表示 □ □ システム状態表示	73	新丁酸品 30省	WJEL_U/3.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
= JAJ LINESON	/4	新丁里吉 4月智	WJEL_U/4.wav	IU7 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	/5	新江目的習	WJEL_U/5.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	/6	新館の習	WJEL_U/6.wav	TUD KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	//	新館屋上	WJEL_U//wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	/8	新館哈屋	WJEL_U/8.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	/9	新館階段	WJEL_079Wav	IU4 KB	MJEL_0/9.wav	96 KB		
	▶ 80	新館エレベーター	WJEL_U8U.wav *	156 KB	MJEL_080.wav	113 KB	~	
	L							
								□通信:切断 …

3 ファイル名称 (男声) 列の音源データ 「MJEL_080.wav」を別途用意した音源データに変更する。 80番「新館エレベーター」のファイル名称(男声)「MJEL 080.wav」をクリックし、手順2と同様の 操作で、音源データを「旧館エレベーター(男声).wav」に変更します。

FSI FS-1000 Manager -							_	
 ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)							
	· ()//(11)							
□…」 世 機精構成設定	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセー	-ジ チャイム 点検音源			
□ ● 機器構成	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^	編集(E)
🖻 🛓 スイッチ・制御設定	54	エレベーター	WJEL_054.wav	73 KB	MJEL_054.wav	65 KB		
□ 出力回線名称設定	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB		登録(<u>R</u>)
□ 放送階選択スイッチ設定	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB		
□ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		育川余(<u>D</u>)
	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		戻す(<u>B</u>)
	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ 制御出力設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		≣≾T=(A)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB		BACKER
	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高正(S)
□ 非常系統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		1711(0)
□ 杉 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		コピー(<u>C</u>)
□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□…』 首源設定	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(P)
□ へ メンテナンス	70	新館地下1階	WJEL_070.wav	126 KB	MJEL_070.wav	116 KB		
□ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WJEL_071.wav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
□□□録インビーダンス表示 □□□ システム動作確認モード	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.7MB
	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
──目 システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	79	新館階段	WJEL_079.wav	104 KB	MUEL_010.1.C.	96 KB		
	▶ 80	新館エレベーター	WJEL_080.wav *	156 KB 🚺	MJEL_080.wav *	154 KB		
					h		*	
							1	□通信:切断 .:

4 階メッセージの名称を変更する。

この例では階メッセージの名称を「新館エレベーター」から「旧館エレベーター」に変更します。 ※ 名称を変更しても、音源データには影響ありません。

📳 FS-1000 Manager -							-	
ファイル(E) 通信(C) ツール(I)	ヘルプ(<u>H</u>)							
□	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセー	-ジ チャイム 点検音源			
	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^	(E)
□ 🛓 スイッチ・制御設定	54	エレベーター	WJEL_054.wav	73 KB	MJEL_054.wav	65 KB		"m>x (<u>c</u>)
□ 出力回線名称設定	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB		
□ 出刀回線クルーフ設定 □ □ □ 査3.4ッチ設定	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB		登録(<u>R</u>)
□ 放送階選択スイッチ設定	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB		
□ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		肖川余(<u>D</u>)
- □ 美扮KM人1ッチ設定 - □ 駅争故送2イッチ設定	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		戻す(<u>B</u>)
	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ 制御出刀設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		=式I車(A)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB		diversity.
□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高正(S)
□ 非常杀杀比贫定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		
□ ● ◎ 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		⊐ピ–(©)
□□□□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□ □ □ □ □ □ A GARACE □ □ □ ▶ 音源データ編集	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(<u>P</u>)
□ ヽ メンテナンス	70	新館地下1階	WJEL_070.wav	126 KB	MJEL_070.wav	116 KB		
□ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WJEL_071.wav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.7MB
□ オンライン履歴表示	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
└──目 システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	79	辛斤食同時 長分	WJEL_079.wav	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB		
	/ 80	旧館エレベーター	WJEL_080.wav *	156 KB	MJEL_080.wav *	154 KB		
							~	1

5 CF カードにデータを書き込む。

CF カードイメージ作成(IE P. 103)でパソコンから CF カードにデー タを書き込みます。

メモ

音源データをパソコンから FS-1000 本体の CF カードにオンラインで書 き込むこともできます。 詳しくは P. 90「設定・音源データを FS-1000 にアップロードする」 をお読みください。



6 FS-1000本体に手順5のCFカードを差し込み、音源データの更新を行い、入れ換えを完了する。 FS-1000本体での音源データの更新方法については、FS-1000システム設定説明書をお読みください。

● 音源データ編集例2(複数の文節音源データを組み合わせて新たな階メッセージを作成する)

ここでは、例として FS-1000 Manager のインストールフォルダー内にある複数の文節音源データを組み合わせて新たな階メッセージを作成し、デフォルトの階メッセージと入れ換える手順を記載しています。

7 新規の設定データを作成するか、既存の設定データを開く。

ご注意

新たに作成した音源データは、すでにある音源データと変更はできますが、新規メッセージとしては追 加登録できません。

メモ

編集した音源データは、設定データの保存時に、同じフォルダー内の edit_data フォルダー内に保存さ れます。 **2** ファイル名称(女声)列の音源データ「WJEL_070.wav」を、複数の文節音源データを組み合わせたものに変更する。

2-1 70番「新館地下1階」のファイル名称(女声)「WJEL_070.wav」をクリックする。

📳 FS-1000 Manager -							_	
ファイル(E) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(<u>H</u>)							
□	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセ・	-ジ チャイム 点検音源			
	番号	名称		サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^	⁄行生(F)
□ 1x601時のX □ 1x795・制御設定	54	エレベーター	WJEL 054.wav	73 KB	MJEL 054.wav	65 KB		*****(<u>C</u>)
	55	エレベーターシャフト	WJEL 055.wav	99 KB	 MJEL 055.wav	89 KB		
- 日 出力回線グループ設定	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	 MJEL_056.wav	104 KB		登録(<u>R</u>)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB		
□ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		削除(<u>D</u>)
	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		戻す(<u>B</u>)
□ 制御入力設定	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ ■ 制御出力設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		≡式TBB(Δ)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB		BA(48\ <u>D</u>)
□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高止(S)
□ 非常系統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		1711(0)
□ ● ◎ 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		⊐ピ–(<u>C</u>)
□ □ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□····································	69	本館エレベーター	WOEL_003Wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(<u>P</u>)
□-へ メンテナンス	▶ 70	新館地下1階	WJEL_070.wav	6 KB	MJEL_070.wav	116 KB		
	71	新館1階	WUEL 071way	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.7MB
□ オンライン履歴表示	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
└──□ システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	79	新館階段	WJEL_079.wav	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB		
	80	新館エレベーター	WJEL_080.wav	123 KB	MJEL_080.wav	113 KB		
							~	
							1	通信:切断

2-2 [編集] ボタンをクリックする。

ファイル(E) 通信(<u>C</u>) ツール(<u>T</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)						
機器構成設定	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセー	ジ 緊急メッセー	ジ チャイム 点検音源		
	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	編集(E)
🛓 スイッチ・制御設定	54	エレベーター	WJEL_054.wav	73 KB	MJEL_054.wav	65 KB	
□ 出力回線名称設定	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB	
	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB	登録(<u>R</u>)
	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB	
→ 目 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB	肖·JB余(<u>D</u>)
	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB	
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB	戻す(<u>B</u>)
──□ 制御入力設定	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB	
	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB	≡式ΪΦΦ(Δ)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_068.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB	BACKEN (1)
──□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB	(高正(5)
→ 目 非常系統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB	1711.0
● 建鹅根试验定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB	
	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB	⊐Ľ-(0
□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB	
 □ 首/#設定 ● 音源データ編集 	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB	貼り付け(
ペ メンテナンス	▶ 70	新館地下1階	WJEL_070.wav	126 KB	MJEL_070.wav	116 KB	
	71	新館1階	WJEL_071.wav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB	合計サイズ
	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB	51.7MB
	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB	
□ システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB	
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB	
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB	
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB	
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB	
	79	新館階段	WJEL_079.wav	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB	
	80	新館エレベーター	WJEL 080.wav	123 KB	MJEL 080.wav	113 KB	

2-3 [登録] ボタンをクリックする。

習 音源デ	ータ編集	1.0	
番号	ファイル名称	サイズ	登錄(B)
▶ 1			- 4
2			育川除(D)
3			
4			試聽(A)
5			
6			(高止(S)
7			1711.0
8			
			決定 キャンセル

2-4 標準の文節音源データのあるフォルダーからファイル名「JF91.wav」を選択する。

[2] 開く	1 M 1		×
🕞 🗢 📕 « FS-100	0 Manager 🔸 Sound 🔸 FS100	0JF - 4 FS1000JFの検索	P
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	88	• 🗆 🔞
☆ お気に入り ♪ ♪ ♪ り ・	ドキュメント ライ: FS1000JF	ブラリ 並べ替え: フォルダー ▼	
■ デスクトップ = 30 最近表示した場所	JF57.wav JF66.wav JF58.wav JF59.wav JF59.wav JF68.wav		
⇒イブラリ ドキュメント ビクチャ	 JF60.wav JF61.wav JF70.wav JF70.wav JF71.wav JF71.wav 	JF78.wav JF87.wav JF79.wav JF88.wav JF80.wav JF80.wav JF80.wav	
🛃 ビデオ 🎝 ミュージック	 JF64.wav JF65.wav JF73.wav JF74.wav 	JF82.way JF82.way JF83.way JF92.way	
-מ-רשויר -	•		•
77	イル名(N): JF91.wav	 音源データ (*.wz	IV) ・ キャンセル

メモ

FS-1000 Manager のインストールフォルダー内に、日本語と英語のみ、標準の文節音源データを用意しています。

文節音源データは、女声と男声のフォルダーに分かれており、デフォルトで以下のところに収められています。

(日本語) C:¥Program Files¥TOA Corporation¥FS-1000Manager¥Sound¥FS1000JF*1またはFS1000JM*2

(英語) C:¥Program Files¥TOA Corporation¥FS-1000Manager¥Sound¥FS1000EF*1または FS1000EM*2 *1女声、*2男声

※ 文節の種類や内容については、P. 74「日本語文節データー覧表」または P. 76「英語文節データー 覧表」をご覧ください。

※ 中国語および韓国語の文節音源データが必要なときは、別途ご用意ください。

1番に「JF91.wav」が追加されます。

🗿 音源デ・	ータ編集			×
番号	ファイル名称	t.	オイズ	登錄(R)
▶ 1	JF91.wav	4	9 KB	
2		T		削除(<u>D</u>)
3				
4				試聽(<u>A</u>)
5				
6				停止(S)
7				
8				
				決定 キャンセル

2-52番のファイル名称欄をクリックし、手順2-3~2-4と同様の操作で、音源データを追加する。 以下、同様の手順を繰り返して、「新館 地下 第1 駐車場 の」の5文節を追加します。



2-6 文節の追加が完了したら、[決定] ボタンをクリックする。

FS	音源デ・	ーク編集		×
Γ				
	番号	ファイル名称	サイズ	登錄(R)
	1	JF91.wav	49 KB	
	2	JF77.wav	25 KB	育(B余(D)
	3	JF73.wav	50 KB	
	4	JF79.wav	55 KB	武藤(A)
	▶ 5	JF04.wav	14 KB	
	6			(ALCS)
	7			IATT/D
	8			
			- C	決定
				キャンセル

音源データが入れ換わり、ファイルサイズが変更されます。 [試聴] ボタンを押すと、登録データの再生ができます。

ご注意

階メッセージを新規の音源に変更しても、音源データのファイル名称は「WJEL_070.wav」のままで変更 されません。ただし、デフォルトの音源から変更すると、ファイル名称の後に「*」が付いて表示されます。

🔛 FS-1000 Manager -							_	
ファイル(E) 通信(<u>C</u>) ツール(I)	ヘルプ(<u>H</u>)							
□	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	竪急がた	ジーチャイル、占検音源			
データ情報	퓨모	の作		#		#74	٨	
- ■ 機器構成	世与	-647) TLA"D	ファイル-石桥(女声) WIEL 0EAuseu	91A 79.KB	ノアイル・石松(55戸) MUEL 054	91A	~	編集(<u>E</u>)
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	04	10/(-%-	WJEL_034Wav	70 KD	MJEL_034.Wav	00 KD		
□ 出力回線グループ設定	50	エレベーダージャント	WJEL_056.Wav	99 KB	MJEL_000.Wav	89 KB		登錄(R)
□ □ 一斉スイッチ設定	50	エレベーダー機械室	WJEL_US6.wav		MJEL_056.wav	IU4 KB		214(1)
□ 放送階選択スイッチ設定 □ 業務PM本(本設定	57	機械室	WJEL_U5/.wav	69 KB	MJEL_05/Jwav	62 KB		買止服金(□)
	58	風隙室	WJEL_U58.wav	/1 KB	MJEL_U58.wav	62 KB		HUMACE
□ 緊急放送スイッチ設定	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		=≠(n)
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		₩9(<u></u>)
	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ ₩ 非常按送設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		試聴(A)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB		
── □ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高正(S)
□ 非常糸統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		1111(3)
□ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ ■ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		コピー(C)
□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□□□□ 首源設定 □□□□□ 章酒デー友運生	69	本館エレベーター	W IEL 060 way	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(P)
■ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	▶ 70	新館地下1階	WJEL_070.wav *	9 95 KB	MJEL_070.wav	116 KB		
□ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WUEL 071	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
	72	新館2階	WJEL 072.wav	98 KB	MJEL 072,wav	91 KB		51.7MB
- 日 オンライン履歴表示	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
□ システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	- WJEL 075.wav	99 KB	– MJEL 075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL 076.wav	106 KB	MJEL 076.wav	102 KB		
	77		WJEL 077.way	110 KB	MJEL 077.way	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL 078 way	97 KB	MJEL 078 way	89 KB		
	79	新館階段	W.IEL 079way	104 KB	M.IEL 079 way	96 KB		
	80	新館エレバーター	W.IEL 080 way	123 KB	MJEL 080 way	113 KB		
		*1F01-V.X X	WOLL_000/MGV	120 KD	MOLE_0003404	HORD	~	
								⊒通信:切断:

3 ファイル名称(男声)列の音源データ「MJEL_070.wav」を複数の文節音源データを組み合わせたものに変更する。

70番「新館地下1階」のファイル名称(男声)「MJEL_070.wav」をクリックし、手順2と同様の操作 で音源データを変更します。

📓 FS-1000 Manager -							_		×
ファイル(E) 通信(C) ツール(I)	ヘルプ(<u>H</u>)								
□ E 機器構成設定	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセ・	ージ チャイム 点検音源				
データ情報	番문	名称	7ァイル名称(女声)	サイズ	777(山名称(男声)	サイズ	,	อ 🗖	高生(1)
	54	エレベーター	WJEL 054 way	73 KB	MJEL 054.way	65 KB		1	編朱(5)
□ □ 出力回線名称設定	55	エレベーターシャフト	WJEL 055.way	99 KB	MJEL 055.way	89 KB			
- □ 出力回線グループ設定	56	エレベーター機械室	WJEL 056.wav	116 KB	MJEL 056.wav	104 KB		3	登録(<u>R</u>)
□ □ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	57	機械室	- WJEL_057.wav	69 KB	 MJEL_057.wav	62 KB			
□ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		Ē	川除(<u>D</u>)
ーロ 業務RMスイッチ設定	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB			
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		į	冥す(<u>B</u>)
──□ 制御入力設定	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB			
□ □ 制御出力設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		F	式時(4)
□ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB			PREACTO
□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB			ēiF(S)
□ 非常系統EL設定 □ i 神秘系統設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB			110
□ ● ◎ 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB			
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB			1ピー(<u>C</u>)
□□□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB			
□□□□□□=1/Fit 2/E □□□□ ■ 1/Fit 2/E □□□□ ■ 1/Fit 2/E	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MUEL_000	109 KB		貼	り付け(型)
白 🔨 メンテナンス	▶ 70	新館地下1階	WJEL_070.wav *	195 KB	MJEL_070.wav *	77 KB			
□ 履歴ファイル表示	71	新館1階	WJEL_071.wav	103 KB	M IEL 071 way	95 KB		合計	サイズ:
システム動作確認モード	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.8	мв
ロ オンライン履歴表示	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB			
システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB			
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB			
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB			
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB			
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB			
	79	新館階段	WJEL_079.wav	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB			
	80	新館エレベーター	WJEL_080.wav	123 KB	MJEL_080.wav	113 KB			
								一通信	:切断 .:

4 階メッセージの名称を変更する。

この例では階メッセージの名称を「新館地下1階」から「新館地下第1駐車場」に変更します。 ※名称を変更しても、音源データには影響ありません。

🔄 FS-1000 Manager -								
ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)							
	RELIANT			ET de L. Le	21 P. () F46 #275			
□***■ □ データ情報	1個メッビー	パロ本語/ 階メッセーン	(二ヶ国語) 音声音報メッセーソ	緊急メッセー	ソ ナヤ1ム 点棟音源			
□ 機器構成	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^	編集(<u>E</u>)
白	54	エレベーター	WJEL_054.wav	73 KB	MJEL_054.wav	65 KB		
□ 出刀回線名称設定 □ □ 出力回線ガループ設定	55	エレベーターシャフト	WJEL_055.wav	99 KB	MJEL_055.wav	89 KB		71/2 (0)
□ □ 一斉スイッチ設定	56	エレベーター機械室	WJEL_056.wav	116 KB	MJEL_056.wav	104 KB		宣禄(<u>E</u>)
- □ 放送階選択スイッチ設定	57	機械室	WJEL_057.wav	69 KB	MJEL_057.wav	62 KB		
→ ■ 業務RM本体設定	58	風除室	WJEL_058.wav	71 KB	MJEL_058.wav	62 KB		育川\$余(<u>D</u>)
□ \$\$\$100×19738年 □ \$\$\$100×19738年	59	本館地下1階	WJEL_059.wav	123 KB	MJEL_059.wav	112 KB		
	60	本館1階	WJEL_060.wav	98 KB	MJEL_060.wav	91 KB		
□ 制御入力設定	61	本館2階	WJEL_061.wav	93 KB	MJEL_061.wav	88 KB		
□ ■ 制御出刀設定	62	本館3階	WJEL_062.wav	102 KB	MJEL_062.wav	94 KB		≣式1陣(A)
□ □ 非常系統名称設定	63	本館4階	WJEL_063.wav	103 KB	MJEL_063.wav	92 KB		Briter(_)
□ 非常放送設定	64	本館5階	WJEL_064.wav	95 KB	MJEL_064.wav	89 KB		(高止(S)
□ 非常糸統EL設定	65	本館6階	WJEL_065.wav	101 KB	MJEL_065.wav	98 KB		THE O
□ ● 業務放送設定	66	本館屋上	WJEL_066.wav	105 KB	MJEL_066.wav	99 KB		
□ 業務放送動作設定	67	本館塔屋	WJEL_067.wav	92 KB	MJEL_067.wav	85 KB		⊐ピ−(<u>©</u>)
□□ 優先度設定	68	本館階段	WJEL_068.wav	99 KB	MJEL_068.wav	92 KB		
□…」 百線設定	69	本館エレベーター	WJEL_069.wav	118 KB	MJEL_069.wav	109 KB		貼り付け(P)
□ へ メンテナンス (/ 70	新館地下第1駐車場	> WJEL_070.wav *	195 KB	MJEL_070.wav *	177 KB		
	71	新闻 19皆	WJEL_071.wav	103 KB	MJEL_071.wav	95 KB		合計サイズ:
	72	新館2階	WJEL_072.wav	98 KB	MJEL_072.wav	91 KB		51.8MB
	73	新館3階	WJEL_073.wav	107 KB	MJEL_073.wav	98 KB		
──目 システム状態表示	74	新館4階	WJEL_074.wav	107 KB	MJEL_074.wav	96 KB		
	75	新館5階	WJEL_075.wav	99 KB	MJEL_075.wav	93 KB		
	76	新館6階	WJEL_076.wav	106 KB	MJEL_076.wav	102 KB		
	77	新館屋上	WJEL_077.wav	110 KB	MJEL_077.wav	102 KB		
	78	新館塔屋	WJEL_078.wav	97 KB	MJEL_078.wav	89 KB		
	79	新館階段	WJEL_079.wav	104 KB	MJEL_079.wav	96 KB		
	80	新館エレベーター	WJEL_080.wav	123 KB	MJEL_080.wav	113 KB		
				1			~	

5 CF カードにデータを書き込む。

CF カードイメージ作成(IE ♂ P. 103)でパソコンから CF カードにデー タを書き込みます。

メ モ 音源データをパソコンから FS-1000 本体の CF カードにオンラインで書 き込むこともできます。 詳しくは P. 90「設定・音源データを FS-1000 にアップロードする」 をお読みください。

🚰 FS	🚰 FS-1000 Manager -							
77	ァイル(<u>F</u>) 通信(<u>(</u>	<u>こ) ツール(エ)</u>						
	新規作成(<u>N</u>)	Ctrl+N						
1	開く(<u>O</u>)		•					
	上書き保存(<u>S</u>)	Ctrl+S						
	名前を付けて保存	₹(<u>A</u>)						
	CED-F (X							
$\boldsymbol{<}$	CFカードイメー	ジを作成(<u>W</u>)	4					
	設定了 与出力(Die OIETP						
	ラベル出力(<u>L</u>)	Ctrl+P						
	履歷出力(日)	Ctrl+Shift+P						
	終了(<u>X</u>)	Alt+F4						

6 FS-1000本体に手順5のCFカードを差し込み、音源データの更新を行い、入れ換えを完了する。 FS-1000本体での音源データの更新方法については、FS-1000システム設定説明書をお読みください。

● 音源データの音量変更

FS-1000 Manager では、「緊急メッセージ」、「チャイム」、および「点検音源」のタブにある音源データの音 量を個別、または一括で調節できます。

音源の音量調節値は、音源設定データ(「FS1KEV.FSS」ファイル)に保存されます。このデータは、音源データの保存先フォルダにあり、設定データと同様に扱います。

ご注意

「階メッセージ(日本語)」、「階メッセージ(二ヶ国語)」、「階メッセージ(三ヶ国語)」、「階メッセージ(四ヶ 国語)」、および「音声警報メッセージ」のタブにある音源データの音量調節はできません。

[音源データの音量調節範囲]

音源データ	調節範囲	デフォルト
緊急メッセージ1~10	$-30 \sim 0 \text{ dB}$	0 dB
チャイム1~4	$-30 \sim 0 \text{ dB}$	–10 dB
点検音源(点検開始)	$-20 \sim 0 \text{ dB}$	–10 dB
点検音源(点検中)	$-30 \sim 0 \text{ dB}$	–20 dB

[音量変更例 1]

ここでは、例として「点検音源」のタブにある点検時の「点検中」音源データの音量を「-6 dB」にする手順を記載しています。

1 点検音源タブをクリックする。

FS-1000 Manager -							-	-		×
ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)	1								
	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	(二ヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセ	ージ チャイム 点検音源					
	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(チェア)	サイズ		^	編	集(E)
 □- ▲ スイッチ・制御設定 □ 出力回線名称設定 □ 出力回線名称設定 	▶ 1	地下1階	WJEL_001.wav	76 KB	MJEL_001.wav	68 KB				
	2	地下2階	WJEL_002.wav	70 KB	MJEL_002.wav	62 KB				
	3	地下3階	WJEL_003.wav	79 KB	MJEL_003.wav	69 KB			登 :	祿(<u>R</u>)
□ 放送階選択スイッチ設定	4	地下4階	WJEL_004.wav	81 KB	MJEL_004.wav	72 KB				
→□ 業務RM本体設定	5	地下5階	WJEL_005.wav	72 KB	MJEL_005.wav	65 KB			削	除(<u>D</u>)
■ 素扮KM人1ッナ設定 ■ 駅争抜送2イッチ設定	6	1階	WJEL_006.wav	53 KB	MJEL_006.wav	48 KB	1			
	7	28皆	WJEL_007.wav	48 KB	MJEL_007.wav	44 KB	1		戻	す(<u>B</u>)
	8	38皆	WJEL_008.wav	58 KB	MJEL_008.wav	51 KB				
□□ 制御出刀設定	9	48皆	WJEL_009.wav	58 KB	MJEL_009.wav	49 KB	1		1 5 1	捷(A)
□ 非常系統名称設定	10	58皆	WJEL_010.wav	50 KB	MJEL_010.wav	46 KB	1		0.40	na(<u>1</u>)

2「点検中」の個別音量欄をクリックし、プルダウンリストで「-6 dB」を選択する。

📓 FS-1000 Manager -							-		×
ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)							
□	階メッセー	-ジ(日本語) 階メッセージ	ク(ニヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッゼ	-ジ チャイム	点検音源			
	番号	名称	ファイル名称	サイズ	個別音量			編集	Ę(E)
□-≟ スイッチ・制御設定	1	点検開始	TALK_015.wav	239 KB	-10dB				
	▶ 2	点検中	TALK_017.wav	1,783 KB	-20dB 🗸 🗸				
					-1dB ^			登約	k(<u>R</u>)
一 □ 放送階選択スイッチ設定					-3dB -4dB			111172	
				/	Ball				R(<u>D</u>)
□ 緊急放送スイッチ設定					-74B			=-	±(n)
					-9dB			戻 9	(D)
□ 制御人刀設定 □ □ 制御出力設定					-10dB -11dB				_
□ — — 非常放送設定					-12dB -13dB			試酵	₫(<u>A</u>)
──目 非常系統名称設定					-14dB				



CF カードイメージ作成(📭 P. 103) でパソコンから CF カードにデータ を書き込みます。

メモ

音源設定データをパソコンから FS-1000 本体の CF カードにオンラインで 書き込むこともできます。 詳しくは P. 88「設定データを FS-1000 にアップロードする」をお読み

ください。



4 FS-1000本体に手順3のCFカードを差し込み、音源データの更新を行い、入れ換えを完了する。 FS-1000本体での音源データの更新方法については、FS-1000システム設定説明書をお読みください。

[音量変更例 2]

ここでは、例として「点検音源」のタブにあるすべての音源データの音量を「-10 dB」にする手順を記載しています。

1 点検音源タブをクリックする。

🛐 FS-1000 Manager -							-		×
ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)								
	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセージ	り(ニヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセー	-ジ チャイム 点検音源				
桜器構成	番号	名称	ファイル名称(女声)	サイズ	ファイル名称(男声)	サイズ	^		編集(E)
📄 🛓 スイッチ・制御設定	▶ 1	地下1階	WJEL_001.wav	76 KB	MJEL_001.wav	68 KB			
	2	地下2階	WJEL_002.wav	70 KB	MJEL_002.wav	62 KB			
	3	地下3階	WJEL_003.wav	79 KB	MJEL_003.wav	69 KB		1	登録(<u>R</u>)
□ 放送階選択スイッチ設定	4	地下4階	WJEL_004.wav	81 KB	MJEL_004.wav	72 KB			
	5	地下5階	WJEL_005.wav	72 KB	MJEL_005.wav	65 KB		i i	肖耶余(<u>D</u>)
	6	18皆	WJEL_006.wav	53 KB	MJEL_006.wav	48 KB			
	7	28皆	WJEL_007.wav	48 KB	MJEL_007.wav	44 KB			戻す(<u>B</u>)
	8	38皆	WJEL_008.wav	58 KB	MJEL_008.wav	51 KB			
───── 制御出刀設定	9	48皆	WJEL_009.wav	58 KB	MJEL_009.wav	49 KB			≣式100(A)
□ 非常系統名称設定	10	58皆	WJEL_010.wav	50 KB	MJEL_010.wav	46 KB			Dictant_D



📳 FS-1000 Manager -							-		×
ファイル(F) 通信(C) ツール(T)	ヘルプ(H)								
	階メッセー	ジ(日本語) 階メッセー	ジ(ニヶ国語) 音声警報メッセージ	緊急メッセー	-ジ チャイム	点検音源			
□ 丁二% 值報	番号	名称	ファイル名称	サイズ	個別音量			編	集(<u>E</u>)
□-≛ スイッチ・制御設定	▶ 1	点検開始	TALK_015.wav	239 KB	-10dB				
	2	点検中	TALK_017.wav	1,783 KB	2000	1			
			-	-	一任卒员			<u> </u>	禄(<u>R</u>)
- □ 一斉スイッチ設定					-16 B B 6				
								2010	
								RUR	
								戻	す(<u>B</u>)
								≡#T	(A)
- 非常交达々获得学								02(4	max <u>m</u> y
= arm/RML-D1/TER/E									

音量設定画面が開きます。



3 音量設定画面の一括欄をクリックし、プルダウンリストで「-10 dB」を選択する。

ご注意

「点検音源」タブの「点検開始」と「点検中」の音源データでは、音量調節範囲が異なります。 音量を -21 dB 以下の値としたときでも、「点検開始」音源データの音量は -20 dB となります。
4 CFカードにデータを書き込む。 CFカードイメージ作成(■③ P. 103)でパソコンから CFカード にデータを書き込みます。 メーモ

音源設定データをパソコンから FS-1000 本体の CF カードにオン ラインで書き込むこともできます。 詳しくは P. 88「設定データを FS-1000 にアップロードする」を お読みください。



5 FS-1000本体に手順4のCFカードを差し込み、音源データの更新を行い、入れ換えを完了する。 FS-1000本体での音源データの更新方法については、FS-1000システム設定説明書をお読みください。 FS-1000 Manager のインストールフォルダー内に標準の文節音源データを用意しています。 文節音源データは、女声と男声のフォルダーに分かれており、デフォルトで以下のところに収められています。 C:¥Program Files¥TOA Corporation¥FS-1000Manager¥Sound¥ FS1000JF または FS1000JM

女声、	フォルダー名:FS1000JF	男声、	フォルダー名:FS1000JM
ファイル名	内容	ファイル名	内容
JF04.wav	~の	JM04.wav	~で
JF13.wav	1 階	JM13.wav	1 階
JF14.wav	2 階	JM14.wav	2 階
JF15.wav	3 階	JM15.wav	3 階
JF16.wav	4 階	JM16.wav	4 階
JF17.wav	5 階	JM17.wav	5 階
JF18.wav	6 階	JM18.wav	6 階
JF19.wav	7 階	JM19.wav	7 階
JF20.wav	8 階	JM20.wav	8 階
JF21.wav	9 階	JM21.wav	9 階
JF22.wav	10 階	JM22.wav	10 階
JF23.wav	11 階	JM23.wav	11 階
JF24.wav	12 階	JM24.wav	12 階
JF25.wav	13 階	JM25.wav	13 階
JF26.wav	14 階	JM26.wav	14 階
JF27.wav	15 階	JM27.wav	15 階
JF28.wav	16 階	JM28.wav	16 階
JF29.wav	17 階	JM29.wav	17 階
JF30.wav	18 階	JM30.wav	18 階
JF31.wav	19 階	JM31.wav	19 階
JF32.wav	20 階	JM32.wav	20 階
JF33.wav	21 階	JM33.wav	21 階
JF34.wav	22 階	JM34.wav	22 階
JF35.wav	23 階	JM35.wav	23 階
JF36.wav	24 階	JM36.wav	24 階
JF37.wav	25 階	JM37.wav	25 階
JF38.wav	26 階	JM38.wav	26 階
JF39.wav	27 階	JM39.wav	27 階
JF40.wav	28 階	JM40.wav	28 階
JF41.wav	29 階	JM41.wav	29 階
JF42.wav	30 階	JM42.wav	30 階
JF43.wav	31 階	JM43.wav	31 階
JF44.wav	32 階	JM44.wav	32 階
JF45.wav	33 階	JM45.wav	33 階
JF46.wav	34 階	JM46.wav	34 階
JF47.wav	35 階	JM47.wav	35 階
JF48.wav	36 階	JM48.wav	36 階
JF49.wav	37 階	JM49.wav	37 階
JF50.wav	38 階	JM50.wav	38 階
JF51.wav	39 階	JM51.wav	39 階
JF52.wav	40 階	JM52.wav	40 階
JF53.wav	地下1階	JM53.wav	地下1階
JF54.wav	地下2階	JM54.wav	地下2階
JF55.wav	地下3階	JM55.wav	地下3階
JF56.wav	地下4階	JM56.wav	地下4階
JF57.wav	地下5階	JM57.wav	地下5階
JF58.wav	エレベーター	JM58.wav	エレベーター
JF59.wav	階段	JM59.wav	階段
JF60.wav	屋上	JM60.wav	屋上

(次ページへ続く)

女声、	フォルダー名:FS1000JF	男声、	フォルダー名:FS1000JM
ファイル名	内容	ファイル名	内容
JF61.wav	塔屋(とうや)	JM61.wav	塔屋(とうや)
JF62.wav	体育館	JM62.wav	体育館
JF63.wav	講堂	JM63.wav	講堂
JF64.wav	エスカレーター	JM64.wav	エスカレーター
JF65.wav	エレベーターシャフト	JM65.wav	エレベーターシャフト
JF66.wav	エレベーター機械室	JM66.wav	エレベーター機械室
JF67.wav	東(ひがし)	JM67.wav	東(ひがし)
JF68.wav	西(にし)	JM68.wav	西(にし)
JF69.wav	南(みなみ)	JM69.wav	南(みなみ)
JF70.wav	北(きた)	JM70.wav	北(きた)
JF71.wav	中央	JM71.wav	中央
JF72.wav	中(ちゅう)	JM72.wav	中(ちゅう)
JF73.wav	第 1	JM73.wav	第 1
JF74.wav	第2	JM74.wav	第2
JF75.wav	第3	JM75.wav	第3
JF76.wav	第 4	JM76.wav	第 4
JF77.wav	地下	JM77.wav	地下
JF78.wav	地下階	JM78.wav	地下階
JF79.wav	駐車場	JM79.wav	駐車場
JF80.wav	機械室	JM80.wav	機械室
JF81.wav	風除室(ふうじょしつ)	JM81.wav	風除室(ふうじょしつ)
JF82.wav	ペントハウス	JM82.wav	ペントハウス
JF83.wav	売り場	JM83.wav	売り場
JF84.wav	バックヤード	JM84.wav	バックヤード
JF85.wav	エントランスホール	JM85.wav	エントランスホール
JF86.wav	教室	JM86.wav	教室
JF87.wav	廊下	JM87.wav	廊下
JF88.wav	校舎	JM88.wav	校舎
JF89.wav	工場	JM89.wav	工場
JF90.wav	病棟	JM90.wav	病棟
JF91.wav	新館	JM91.wav	新館
JF92.wav	本館	JM92.wav	本館

FS-1000 Manager のインストールフォルダー内に標準の文節音源データを用意しています。 文節音源データは、女声と男声のフォルダーに分かれており、デフォルトで以下のところに収められています。 C:¥Program Files¥TOA Corporation¥FS-1000Manager¥Sound¥ FS1000EF または FS1000EM

女声、	フォルダー名:FS1000EF	男声、	フォルダー名:FS1000EM
ファイル名	内容	ファイル名	内容
EF05.wav	at the(ザ)	EM05.wav	at the(ザ)
EF06.wav	in the(ザ)	EM06.wav	in the(ザ)
EF07.wav	of the(ザ)	EM07.wav	of the(ザ)
EF08.wav	on the(ザ)	EM08.wav	on the(ザ)
EF09.wav	at the(ジ)	EM09.wav	at the(ジ)
EF10.wav	in the(ジ)	EM10.wav	in the(ジ)
EF11.wav	of the(ジ)	EM11.wav	of the(ジ)
EF12.wav	on the(ジ)	EM12.wav	on the(ジ)
EF13.wav	1st floor(1 階)	EM13.wav	1st floor(1 階)
EF14.wav	2nd floor(2 階)	EM14.wav	2nd floor(2 階)
EF15.wav	3rd floor(3 階)	EM15.wav	3rd floor(3 階)
EF16.wav	4th floor(4 階)	EM16.wav	4th floor(4 階)
EF17.wav	5th floor(5 階)	EM17.wav	5th floor(5 階)
EF18.wav	6th floor(6 階)	EM18.wav	6th floor(6 階)
EF19.wav	7th floor(7 階)	EM19.wav	7th floor(7 階)
EF20.wav	8th floor(8 階)	EM20.wav	8th floor(8 階)
EF21.wav	9th floor(9 階)	EM21.wav	9th floor(9 階)
EF22.wav	10th floor(10 階)	EM22.wav	10th floor(10 階)
EF23.wav	11th floor(11 階)	EM23.wav	11th floor(11 階)
EF24.wav	12th floor(12 階)	EM24.wav	12th floor(12 階)
EF25.wav	13th floor(13 階)	EM25.wav	13th floor(13 階)
EF26.wav	14th floor(14 階)	EM26.wav	14th floor(14 階)
EF27.wav	15th floor(15 階)	EM27.wav	15th floor(15 階)
EF28.wav	16th floor(16 階)	EM28.wav	16th floor(16 階)
EF29.wav	17th floor(17 階)	EM29.wav	17th floor(17 階)
EF30.wav	18th floor(18 階)	EM30.wav	18th floor(18 階)
EF31.wav	19th floor(19 階)	EM31.wav	19th floor(19 階)
EF32.wav	20th floor(20 階)	EM32.wav	20th floor(20 階)
EF33.wav	21st floor(21 階)	EM33.wav	21st floor(21 階)
EF34.wav	22nd floor(22 階)	EM34.wav	22nd floor(22 階)
EF35.wav	23rd floor(23 陷)	EM35.wav	23rd floor(23 陷)
EF36.wav	24th floor(24 陷)	EM36.wav	24th floor(24 陷)
EF37.wav	25th floor(25 陷)	EM37.wav	25th floor(25 陷)
EF38.wav	26th floor(26 陷)	EM38.wav	26th floor(26 陷)
EF39.wav	2/th floor(2/ 陷)	EM39.wav	2/th floor(2/ 陷)
EF40.wav	28th floor (28 陷)	EM40.wav	28th floor (28 陷)
EF41.wav	29th floor (29 陷)	EM41.wav	29th floor (29 陷)
EF42.wav	30th floor(30 陷)	EM42.wav	
EF43.wav	31st floor(31 陷)	EM43.wav	31st floor(31 陷)
EF44.wav	32N0 1100r(32 陷)	EM44.wav	32nd floor(32 陷)
	3310 11001 (33 陷) 24th floor (24 陛)		3310 11001 (33 泊) 24th floor (24 陛)
	34(11 11001 (34 陌) 25th floor (25 陛)		34(II IIUUI (34 陌) 25th floor (25 陛)
	35(11 11001 (35)泊) 26th floor (26 ^{K比})		35(11 11001 (35)泊) 26th floor (26 ^[])
	30(1111001(30 阳) 27th floor(27 陛)		301111001(30 阳) 27th floor(27 陛)
	37(1111001 (37)阳/ 29th floor (29 陛)		37(1111001 (37)阳/ 29th floor (29 陛)
EF50.wav	Soth HOUI(SO阳) SQth floor(20 陛)		Soth HOUI(SO 阳) Soth floor(20 陛)
EF51.wav	35(111001 (35)円) 40th floor (40 陛)		3500 1000 (35 阳) 40th floor (40 陛)
∟ ⊏ro∠.wav	40(1111001 (40 陌)	EIVI52.Wav	40(1111001 (40 陌)

(次ページへ続く)

女声、	フォルダー名:FS1000EF	男声、	フォルダー名:FS1000EM
ファイル名	内容	ファイル名	内容
EF53.way	1st basement(地下1階)	EM53.way	1st basement(地下1階)
EF54.wav	2nd basement (地下2階)	EM54.wav	2nd basement (地下2階)
EF55.wav	3rd basement (地下3階)	EM55.wav	3rd basement (地下3階)
EF56.way	4th basement (地下4階)	EM56.way	4th basement (地下4階)
EF57.way	5th basement (地下 5 階)	EM57.way	5th basement (地下 5 階)
EF58.wav	elevator (エレベーター)	EM58.wav	elevator (エレベーター)
EF59.wav	stairs (階段)	EM59.wav	stairs (階段)
EF60.wav	rooftop(屋上)	EM60.wav	rooftop(屋上)
EF61.wav	penthouse (塔屋)	EM61.wav	penthouse(塔屋)
EF62.wav	gymnasium(体育館)	EM62.wav	gymnasium(体育館)
EF63.wav	auditorium(講堂)	EM63.wav	auditorium (講堂)
	escalator		escalator
EF64.wav	(エスカレーター)	EM64.wav	(エスカレーター)
	elevator shaft		elevator shaft
EF65.wav	(エレベーターシャフト)	EM65.wav	(エレベーターシャフト)
	elevator's machine room	E 1400	elevator's machine room
EF66.wav	(エレベーター機械室)	EM66.wav	(エレベーター機械室)
EF67.wav	east(東)	EM67.wav	east(東)
EF68.wav	west (西)	EM68.wav	west(西)
EF69.wav	south(南)	EM69.wav	south(南)
EF70.wav	north(北)	EM70.wav	north (北)
EF71.wav	center(中央)	EM71.wav	center(中央)
EF72.wav	middle (中)	EM72.wav	middle (中)
EF73.wav	1st(第 1)	EM73.wav	1st(第 1)
EF74.wav	2nd(第 2)	EM74.wav	2nd(第 2)
EF75.wav	3rd(第 3)	EM75.wav	3rd(第 3)
EF76.wav	4th(第 4)	EM76.wav	4th(第 4)
EF77.wav	basement(地下)	EM77.wav	basement(地下)
EF78.wav	basement(地下階)	EM78.wav	basement(地下階)
EF79.wav	parking(駐車場)	EM79.wav	parking(駐車場)
EF80.wav	machine room(機械室)	EM80.wav	machine room(機械室)
EF81.wav	airlock(風除室)	EM81.wav	airlock(風除室)
EE82 way	penthouse	FM82 way	penthouse
	(ペントハウス)	LIVIOZ.WAV	(ペントハウス)
EF83.wav	department(売り場)	EM83.wav	department(売り場)
EF84.wav	backyard(バックヤード)	EM84.wav	backyard(バックヤード)
EE85 wov	entrance hall	EM85 wov	entrance hall
	(エントランスホール)	LIVIOJ.Wav	(エントランスホール)
EF86.wav	classroom(教室)	EM86.wav	classroom(教室)
EF87.wav	corridor(廊下)	EM87.wav	corridor (廊下)
EF88.wav	school building(校舎)	EM88.wav	school building(校舎)
EF89.wav	factory(工場)	EM89.wav	factory(工場)
EF90.wav	hospital building (病棟)	EM90.wav	hospital building (病棟)
EF91.wav	new building(新館)	EM91.wav	new building(新館)
EF92.wav	main building(本館)	EM92.wav	main building(本館)



■ 履歴ファイル表示

メニュー項目の「メンテナンス」-「履歴ファイル表示」をクリックすると、各種履歴表示画面が表示され ます。

FS-1000 システムの履歴を設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で表示することができます。 動作履歴、故障履歴をそれぞれ1万件まで表示できます。

全履歴は、動作履歴と故障履歴を時系列順に、合わせて2万件までの表示が可能です。

項目名をクリックすると、項目名の横に矢印が表示され、内容が順番に並べ替えられます。

もう一度クリックすると、並び順が切り換わります。

(2) (3)(1) - • × FS-1000 Manager -ファイル(E) 通信(C) ツール(I) ヘルプ(!) 動作履歴 故障履歴 全履歴 ▣ ІІ 機器構成設定 □ データ情報 □ 機器構成 イベント 日付・時刻 機器 分類 内容 No 状態 - 🛓 スイッチ・制御設定 - 💷 出力回線名称設定 1 □ 出力回線グループ設定 □ 一斉スイッチ設定 2 □ 放送階選択スイッチ設定 3 ■ 業務RM本体設定 4 ■ 業務RMスイッチ設定 ■ 緊急放送スイッチ設定 5 ■ チャイムスイッチ設定 ■ 制御入力設定 6 7 □ 制御出力設定 8 👫 非常放送設定 □ 非常系統名称設定 9 ■ 非常放送設定 10 □ 非常系統EL設定 11 □ 連動系統設定 12 ● 業務放送設定 ■ 業務放送動作設定 ■ 優先度設定 13 14 🕞 音源設定 15 □ 音源データ編集 - x2772X 16 • 17 □□ 回線インピーダンス表示 18 □ システム動作確認モード … ■ オンライン履歴表示 19 □ システム状態表示 20 21 22 23 24 25 26 27 □通信:切断

①動作履歴

発生した動作履歴が時系列で表示されます。

②故障履歴

発生した故障履歴が時系列で表示されます。

③全履歴

発生した動作履歴と故障履歴が時系列順に表示されます。



2 履歴ファイルが保存されている場所を指定して、ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。

履歴ファイルの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、履歴表示画面が表示されます。

FS-1000 Manager -							
 ファイル(F) 通信(C) ツール	レ(T) へいし	Ź(H)					
□□□□ 様器構成設定	新作履歴 19						
 ニョ データ情報 	BOT PRICE		1.000 1	4315 000	1195	+ *	1045
	NU 0	□N · • N	170F	1000	刀 大規 5 11 対 用 / レ	Me	17,85
□-▲ スイッチ・制御設定		2014/01/01 00:00:00	システム建築の	77,15 ##	15/05/11L 15/05162英		1254
		2014/01/01 00.00.00	ット・中心上部月 シュコニュ オコチト	4919	3Fm3XJA	-	1590/J
	2	2014/01/01 00:00:00	ソステム近日期		*//#/1L	-	-
□ 放送階選択スイッチ設定	0	2014/01/01 00:00:00	非市正期」	本1年 十分	非市政运	-	近日期川 Staturn
□ 業務RM本体設定	4	2014/01/01 00:00:00	非常1割日	/↓1↓	非常放达	-	1刻日
□ 業務RMスイッチ設定	5	2014/01/01 00:00:00	システム起動	システム	初期化	-	-
□ ■ 業息放送スイッチ設定	6	2014/01/01 00:00:00	非常起動	本1季	非常放透	-	起動
	7	2014/01/01 00:00:00	システム起動	システム	初期化	-	-
	8	2014/01/01 00:00:00	非常起動	本体	非常放送	-	起動
□ ∰ 非常放送設定	9	2014/01/01 00:00:00	システム起動	システム	初期化	-	-
□ 非常系統名称設定	10	2014/01/01 00:00:00	非常起動	本体	非常放送	-	起動
一日 非常放送設定	11	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
一日 非常系統EL設定	12	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
	13	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
	14	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
	15	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
□-□ 音源設定	16	2014/01/01 00:00:01	EL	本体	非常放送	端子番号10	-
□□ 音源データ編集	17	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
	18	2014/01/01 00:00:01	非常起動	本体	非常放送	-	起動
	19	2014/01/01 00:00:01	システム起動	システム	初期化	-	-
	20	2014/01/01 00:00:02	感知器起動	システム	非常放送	-	起動
	21	2014/01/01 00:00:02	放送階選択	本体	非常/業務放送	SW番号11	ON
□ システム状態表示	22	2014/01/01 00:00:02	非常復日	本体	非常放送	-	御日
	23	2014/01/01 00:00:02	非常復日	本体	非常放送	-	復日
	24	2014/01/01 00:00:02	非常復日	本体	非常放送	-	復日
	25	2014/01/01 00:00:02	非常復日	本体	非常故送	-	復日
	26	2014/01/01 00:00:04	非常起動	本体	非常故送	-	記動
	20	2014/01/01 00:00:05	非常起動	木体	非常故迷	-	
							■ `案/= . +☆/# ÷
							(皇))]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]

■ 回線インピーダンス表示

メニュー項目の「メンテナンス」ー「回線インピーダンス表示」をクリックすると、回線インピーダンス表 示画面が表示されます。

回線の初期値および最大値は、回線に接続されているアンプのワット数となります。 ただし、アンプのワット数が 270 W、400 W の場合、回線の初期値および最大値は 200 W となります。

00 Manager -	• II = fan				-
) 通1目(<u>C</u>) ツール(<u>1</u>)	ヘルノ(<u>H</u>)				
器構成設定	回線番号	回線初期値	^		
データ情報	▶ 回線1	90 W			
1素601再0% (ッチ・制御殿定	回線2	90 W			
出力回線名称設定	回線3	90 W	1		
出力回線グループ設定	回線4	90 W	1		
1月入19738年 放送階選択入イッチ設定	回線5	90 W	1		
業務RM本体設定	回線6	90 W	1		
業務RMスイッチ設定	回線7	90 W	1		
茶芯放送ス1ッチ設定 チャイムスイッチ設定	回線8	90 W			
制御入力設定	回線9	90 W	1		
制御出力設定	回線10	90 W	1		
币放还款定 非常系统名称铅定	回線11	90 W			
非常放送設定	回線12	90 W	1		
非常系統EL設定	回線13	90 W			
)理朝禾統設定 務設議設定	回線14	90 W			
業務放送動作設定	回線15	90 W	1		
優先度設定	回線16	90 W			
県設定 音源データ編集	回線17	90 W			
「テナンス	回線18	90 W			
履歴ファイル表示	回線19	90 W			
回線インビータンス表示	回線20	90 W			
オンライン履歴表示	回線21	90 W			
システム状態表示	回線22	90 W			
	回線23	90 W			
	回線24	90 W			
	回線25	90 W			
	回線26	90 W			
	回線27	90 W			
	回線28	90 W			
	回線29	90 W	~		

回線初期値をクリックすると、変更することができます。

📳 FS-1000 Manager -					
ファイル(<u>F</u>) 通信(<u>C</u>) ツール(<u>T</u>)	Δ.	ルプ(<u>H</u>)			
□ - 王 機器構成設定		回線番号	回線初期値	^	^
タ 情報	I	回線1	90		
□ <u>-</u> スイッチ・制御設定		回線2	90 W		
□ 出力回線名称設定		回線3	90 W		
┃ … □ 出力回線グループ設定		同始。	w		

設定データを FS-1000 本体にアップロードするときに、上記の回線初期値が設定に反映されます。

ご注意

FS-1000 で回線インピーダンスを取得した結果を使用する場合は、回線インピーダンスを表示する前に、 FS-1000 で回線インピーダンスを取得した後、CF カードに設定データを保存する必要があります。 FS-1000 本体の設定操作部を操作し、メンテナンスメニューから回線インピーダンスの測定を実施した後、 CF カードの設定データ保存を行ってください。その後、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定ダ ウンロード(本体 CF → PC)を行ってください。

■ システム動作確認モード設定

メニュー項目の「メンテナンス」ー「システム動作確認」をクリックすると、システム動作確認モード設定 画面が表示されます。

FS-1000 システムを操作してシステム動作を確認するときの設定および定期点検の時刻の設定などを行います。



SP 回線制御

システム動作確認モード中に、スピーカーから動作確認時の音声を出力するかしないかを設定します。 (デフォルト:出力しない)

「出力する」にすると、スピーカーから音声が出力されます。

| 設定範囲 | 出力する、出力しない

② 非常断 24 V 制御

システム動作確認モード中に、非常断 24 V 端子の制御をするかしないかを設定します。 (デフォルト:制御しない) 「制御する」にすると、状態に応じて非常断 24 V 端子の DC24 V が遮断されます。 ② 設定範囲 制御する、制御しない

③ 状態出力制御

システム動作確認モード中に、状態出力をするかしないかを設定します。(デフォルト:制御しない) 「制御する」にすると、状態に応じて制御出力が行われます。

設定範囲 制御する、制御しない

④点検音源

システム動作確認モードの非常放送中に使用する音源を設定します。(デフォルト:確認音源)

非常音源:非常時に放送する音源を使用します。 確認音源:点検である旨のメッセージと点検用の音源を使用します。

設定範囲 非常音源、確認音源

⑤ 定期点検設定

1日に1度行う、定期点検の開始時刻を設定します。

| 設定範囲 | 0:00 ~ 23:59 ※1分ステップ

ご注意

システム動作確認モードの設定は設定データに含まれます。

設定データを FS-1000 にアップロードする場合については、P. 88「設定データを FS-1000 にアップロード する」をお読みください。

■ オンライン履歴表示

メニュー項目の「メンテナンス」ー「オンライン履歴表示」をクリックすると、パソコンと FS-1000 を接続 した状態で取得した履歴を表示します。オンラインで履歴を取得するには、パソコンと FS-1000 を通信接続 する必要があります。通信接続中は画面右下に「接続中」と表示されます。(IFS P. 85 FS-1000 とパソコ ンの通信」)

動作履歴、故障履歴はそれぞれ最大2万件まで表示されます。2万件を超えた場合、最新の2万件のみ表示 されます。

全履歴は動作履歴と故障履歴を時系列順に、合わせて4万件まで表示されます。

項目名をクリックすると、項目名の横に矢印が表示され、内容が順番に並べ替えられます。

もう一度クリックすると、並び順が切り換わります。

[更新停止] ボタンを押すと、履歴の取得を一時停止します。

ファイル(F) 通信(C) ツー	ıl(T) ∧ıl:	プ(H)						
E 機器構成設定								#r/# 1
- ロ データ情報	動作履歴 書	如障履歴 全履歴					更	新1 孕止
	No	日付・時刻	イベント	機器	分類	内容	状態	
□ 出力回線名称設定	0	2014/01/22 22:11:55	システム起動	システム	初期化	-	-	
──目 出力回線グループ設定	1	2014/01/22 22:12:19	異常受理	本体	メンテナンス	-	-	
	2	2014/01/22 22:12:20	異常受理	本体	メンテナンス	-	-	
──□ 業務RM本体設定	3	2014/01/22 22:18:26	非常起動	本体	非常放送	-	起動	_
□ 業務RMスイッチ設定	4	2014/01/22 22:18:28	非常復日	本体	非常放送	-	復日	\neg
	5	2014/01/22 22:18:28	非常記動	本体	非常故送	-	記動	-
□ 制御入力設定	6	2014/01/22 22:18:29	非常復日	本体	非常拔送	-	御日	-
	7	2014/01/22 22:18:34	死急→容	本体	非常/業務故送	-	-	
	8	2014/01/22 22:18:35	通常一斉	本体	非常/業務故送	-	-	
──目 非常放送設定	0	2014/01/22 22:18:36	驱命 A 联合一容	本体	非常/業務批送	-	-	
□ 非常糸統EL設定 	10	2014/01/22 22:10:00	通常 五	***	非常人業務地洋	-	-	
● 業務放送設定	11	2014/01/22 22:10:00	通常言音	***	非常人業務地洋	-	-	
□ 業務放送動作設定	12	2014/01/22 22:10:00	短市 月 駅合山高	***	非常/業務状態	-	-	
·····································	12	2014/01/22 22:10:00	· 通常 - 百	***	非常/業務が送	-	-	
□□□ 音源データ編集	14	2014/01/22 22:10:00	地市 月 彩色山方	**	3F107/3R1350人之	-		
・ メンテナンス	14	2014/01/22 22:18:33	来态一月	本1年 +/+	オトロノ 未1582/10	-	-	
	10	2014/01/22 22:16:40	旭市一月 10日 安	(本)1年 (土)(土)	3F市/朱行が火之	-	-	
──目 システム動作確認モード	10	2014/01/22 22:18:40	緊急一身	\ ↓ · · · ·	非市/来扬放达	-	-	
	17	2014/01/22 22:18:41	通常一合	本1年	非常/莱扮放达	-	-	
□ システム状態表示	18	2014/01/22 22:18:41	緊急一角	本1本	非常/莱扬放达	-	-	
	19	2014/01/22 22:18:41	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	20	2014/01/22 22:18:42	繁急一斉	本体	非常/葉務放送	-	-	
	21	2014/01/22 22:18:43	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	22	2014/01/22 22:18:43	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	23	2014/01/22 22:18:43	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	24	2014/01/22 22:18:44	緊急一斉	本体	非常/葉務放送	-	-	
	25	2014/01/22 22:18:44	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	26	2014/01/22 22:18:44	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	

[更新開始] ボタンをクリックすると、履歴の取得を再開します。

🚰 FS-1000 Manager -								x
ファイル(F) 通信(C) ツー	ν(T) Λν.	プ(H)						
■ 機器構成設定 ■ データ情報	動作履歴 さ	故障履歴 全履歴					更新開始	6
□ □ 根器構成 □- 1 スイッチ・制御設定	No	日付・時刻	イベント	機器	分類	内容	状態	
□□ 出力回線名称設定	0	2014/01/22 22:11:55	システム起動	システム	初期化	-	-	
	1	2014/01/22 22:12:19	異常受理	本体	メンテナンス	-	-	
□ □ ★ 法 管 選 択 ス イッチ 設 定	2	2014/01/22 22:12:20	異常受理	本体	メンテナンス	-	-	1
──□ 業務RM本体設定	3	2014/01/22 22:18:26	非常起動	本体	非常放送	-	起動	
	4	2014/01/22 22:18:28	非常復旧	本体	非常放送	-	復日	1
	5	2014/01/22 22:18:28	非常起動	本体	非常放送	-	起動	
□ 制御入力設定 □ 制御入力設定	6	2014/01/22 22:18:29	非常復旧	本体	非常放送	-	復旧	
□ 將 非常放送設定	7	2014/01/22 22:18:34	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
□ 非常系統名称設定	8	2014/01/22 22:18:35	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	Ξ
──目 非常放送設定 目 非常系統EL設定	9	2014/01/22 22:18:36	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
□ 連動系統設定	10	2014/01/22 22:18:38	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
□ ● 業務放送設定	11	2014/01/22 22:18:38	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	[]	
● 未初放/Cm/ Fac/Le	12	2014/01/22 22:18:39	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
□- 🕞 音源設定	13	2014/01/22 22:18:39	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	(-	
□□□ 音源デーダ編集 □□ペー む/テキンス	14	2014/01/22 22:18:39	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
■ 1000000000000000000000000000000000000	15	2014/01/22 22:18:40	通常一斉	本体	非常/葉務放送	-		
	16	2014/01/22 22:18:40	緊急一斉	本体	非常/葉務放送	-	-	
	17	2014/01/22 22:18:41	通常一斉	本体	非常/葉務放送	-	-	
▶ オンライン履歴表示	18	2014/01/22 22:18:41	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
└─□ システム状態表示	19	2014/01/22 22:18:41	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	20	2014/01/22 22:18:42	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	
	21	2014/01/22 22:18:43	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	1
	22	2014/01/22 22:18:43	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	1
	23	2014/01/22 22:18:43	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	1
	24	2014/01/22 22:18:44	緊急一斉	本体	非常/業務放送	-	-	1
	25	2014/01/22 22:18:44	通常一斉	本体	非常/業務放送	-	-	1
	26	2014/01/22 22:18:44	緊急一斉	本体	非常/葉務放送	-	-	-
							🔁 通信 : 接続	.

■ システム状態表示

メニュー項目の「メンテナンス」ー「システム状態表示」をクリックすると、パソコンとFS-1000 を接続した状態で取得した機器の状態を表示します。システム状態表示を行うには、パソコンとFS-1000 を通信接続する必要があります。通信接続中は画面右下に「接続中」と表示されます。(■③ P. 85 [FS-1000 とパソコンの通信」)

異常がある機器や通信ができていない機器は赤く表示されます。



異常が表示されている機器をクリックすると、機器状態の詳細が表示されます。

19 業務停電ユニット					×	
業務停電ユニットの状態表示で	です。 					
機器状態	異常状態詳細 4888					
1000GU 異学		1.046	停电距	助フ1ノ共市	1.1548	
	No 内谷	祆懇	NO	内谷	祆態	
	1 プログラム	正常		停電起動異常	正常	
	接続異常		接続構	成確認異常		
	No 内容	状態	No	内容	状態	
	1 GU-CTRL接続	異常	1	GU-CTRL接続	正常	
	電源異常		待機中電源異常			
	No 内容	状態	No	内容	状態	
	1 蓄電池充電(未接続)	異常	1	待機中電源電圧	正常	
	2 電源電圧(3.3V-H)	異常	バッテリ昇	【光		
			No	内容	状態	
			1	バッテリー	正常	
			L			
					ОК	

FS-1000 とパソコンの通信

FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続することで、設 定データおよび履歴ファイルをリアルタイムに取得することができます。

ご注意

● スイッチングハブに複数の FS-1000 が接続されているときは、IP アドレスが重複していると、パソコンとの通信接続が正しく行えない可能性があります。スイッチングハブに接続されているすべての FS-1000 に異なる IP アドレスを設定した後、通信接続を行ってください。

● 複数のパソコンを1台の FS-1000 に同時に接続することはできません。

■ FS-1000 とパソコンを通信接続する

1 FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンをそれぞれ スイッチングハブに接続する。

FS-1000 本体の LAN 接続端子を 10BASE-T/100BASE-TX に対応したスイッチングハブに接続します。 RJ45 コネクター付き STP カテゴリー 5 規格のストレートケーブルを使用してください。

ご注意

- ●スイッチングハブには、FS-1000とパソコン以外を接続しないでください。
- FS-1000 本体とパソコンを直接ケーブルで接続しないでください。

FS-1000 本体操作部扉裏面 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager & インストールしたパソコン スイッチングハブ 6 0 IROBU Ø CPU RUN DSP RU RJ45 コネクター付き STP カテゴリー 5 規格の ストレートケーブル LAN CPU RUN DSP RUN USB LNK/ACTO OFULL 0 扉の底面(端子面)から見た図

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから

[通信→通信設定]を選択する。



4 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーか ら [通信→接続] を選択する。

🔮 通信設定	1100	X
機器の通信設定を	<u>E</u> します。	168 14 1
	•] 152	100.14.1
l L	ОК	キャンセル



接続中のウィンドウが表示されます。

メモ

[キャンセル] ボタンを押すと、中断できます。

通信設定で表示されている IP アドレスの FS-1000 と通信します。 接続が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

※ 接続ができないときは P. 93「通信ができないときは」をお 読みください。

5 [OK] ボタンをクリックする。 画面が閉じます。

通信中は、画面右下に「接続中」と表示されます。

🖉 FS-1000 Manager -	
ファイル(F) 通信(C) ツール(T) ヘルプ(H)	
	🗅 通信:接続中 🚲

	接続中です。	
	092791427650	キャンヤル(C)
	_	
S-1000 Manage	r	
() 接続(こ成功しました。	
		ОК



通信中にシステムリセットをしたり、LAN ケーブルを抜いたりすると、接続が切断され、画面右下の表示が「切断」になります。

手順4から再度行ってください。

ファイル(F) 通信(C) ツール(T) ヘル(J/H) ● 日本の(F) 通信(C) ジール(T) ヘル(J/H) ● 日本の(F) が(C) が(C) (F) (F) (F) が(C) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F	📳 FS-1000 Manager -	X
IF WRHMANDE IF WRMANDE IF WRMANDE	ファイル(F) 通信(C) ツール(T) ヘルプ(H)	
ロ連信:切断:	Image: State in the state	:: 切断::

■ FS-1000 とパソコンの通信を切断する

FS-1000 とパソコンが通信接続しているときに、メニューバー から [通信→切断] を選択する。 画面右下の「接続中」の表示が「切断」になります。

🛂 FS-1000 Ma	nager -		
ファイル(F)	通信(C) ツール(T) ヘルプ(H)		
	切断(D)	F6	
	設定ダワンロート(ホルCr→PC)(K) 設定アップロード(PC→本体CF)(W)		
	設定・音源ダウンロード(本体CF→PC 設定・音源アップロード(PC→本体CF	i) (O) i) (U)	
	履歴ファイル取得(H)		
	通信設定(S)	F4	

■設定データを FS-1000 にアップロードする

パソコンで作成した設定データと音源の音量調節値が保存されている音源設定データを FS-1000 の CF カードにオンラインで書き込むことができます。

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で現在読み込んでいる設定データをアップロードします。

- ※ CF カードに音源データが保存されていない場合は、設定データだけではなく音源データのアップロード も必要です。「設定・音源データアップロード」をしてください。(■③ P.90「設定・音源データを FS-1000 にアップロードする」)
- **7** FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続 する。

通信接続のしかたは、P. 85「FS-1000 とパソコンを通信接続する」をお読みください。 通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [通信→設定アップロード (PC →本体 CF)]を選択する。 FS-1000 とパソコンを通信接続していないときに実行すると、通信接続を行ってから転送を開始します。

FS-1000 Ma	nager -	-		
ファイル(F)	通信(C) ツール(T) ヘルプ(H)			
	接続(C)	F5		
	切断(D)	F6		
<	設定アップロード(PC→本体CF) (\	N)		
	設定・音源ダウンロード(本体CF→ 設定・音源アップロード(PC→本体	PC) (0) CF) (U)		
	履歴ファイル取得(H)			
	通信設定(S)	F4		

設定ファイルを転送中です。 しばらくお待ちください・・・

キャンセル(C)

FS-1000 Manager

ファイル転送中: 7.432 / 41.042

転送中のウィンドウが表示されます。

メモ

[キャンセル] ボタンを押すと、転送を中断します。

転送が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

FS-1000 Manager	
転送が正常に終了しまし	đ≿o
	ОК
	3

3 [OK] ボタンをクリックする。 画面が閉じます。

ご注意

さい。

設定データを FS-1000 システムの設定に反映するためには、FS-1000 で設定データの更新を行う必要があり ます。 FS-1000 本体の設定操作部を操作し、メンテナンスメニューから CF カードの設定データ更新を行ってくだ

】設定データを FS-1000 からダウンロードする

FS-1000 本体の CF カードに保存されている設定データと音源設定データをパソコンにオンラインでダウン ロードすることができます。 ダウンロードした設定データは、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager に読み込まれます。 ダウンロードした設定データをパソコンに保存する場合は、ダウンロード後に設定ファイルの保存を行って ください。(『3 P. 101 「設定ファイルの保存」) 音源設定データは、設定データと同じフォルダーに保存されます。

ご注意

- 設定データをダウンロードする前に、FS-1000の設定データを CF カードに書き込む必要があります。
 FS-1000本体の設定操作部を操作し、メンテナンスメニューから CF カードの設定データ保存を行ってください。
- ●設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で編集中の設定状態は、ダウンロードした設定データに上書きされます。編集中の設定データを保存する場合は、設定ファイルの保存を行ってください。(■③ P. 101 「設定ファイルの保存」)
- 7 FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続 する。

通信接続のしかたは、P. 85「FS-1000 とパソコンを通信接続する」をお読みください。 通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [通信→設定ダウンロード (本体 CF → PC)]を選択する。 FS-1000 とパソコンを通信接続していないときに実行すると、通信接続を行ってから転送を開始します。

FS-1000 Ma	nager -	and the second			
ファイル(F)	通信(C) ツール(T) ヘルプ(H)				
	接続(C)	F5			
	切断(D) F6				
設定ダウンロード(本体CF→PC) (R)					
	設定アップロート(rc-~~pcr)(W)				
	設定・音源ダウンロード(本体CF→PC) (O)				
	設定・音源アップロード(PC→本体CF)(U)				
履歴ファイル取得(H)					
通信設定(S) F4					

ES-1000 Manager

転送中のウィンドウが表示されます。



[キャンセル] ボタンを押すと、転送を中断します。

転送が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

_		
設定7:	ァイルを転送中です。	
しばら	〈お待ちください・・・	
ファイル転送中: 7,432 /	41,042	キャンセル(C)
S-1000 Manager		
● 転送が正常に終了	しました。	
		U UK
		3

3 [OK] ボタンをクリックする。 画面が閉じます。

■ 設定・音源データを FS-1000 にアップロードする

パソコンで作成した設定データと音源データを FS-1000 本体の CF カードにオンラインで書き込むことがで きます。 アップロードは、現在編集中の設定データと音源データが保存されているフォルダーから行われます。その フォルダーにない音源データは、デフォルトの音源が入っているフォルダーからアップロードされます。

 FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続 する。
 通信接続のしかたは、P. 85「FS-1000 とパソコンを通信接続する」をお読みください。
 通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [通信→設定・音源アップロード (PC →本体 CF)] を選択する。

FS-1000 とパソコンを通信接続していないときに実行すると、通信接続を行ってから転送を開始します。

ファイル(F)	通信(C) ツール(T) ヘルプ((H)
	接続(C)	F5
	切断(D)	F6
	設定ダウンロード(本体CF→ 設定アップロード(PC→本体	PC) (R) CF) (W)
	設定・音源ダウンロード(本	体CF→PC) (0)
•	設定・音源アップロード(PC	C→本体CF) (U)
	履歴ファイル取得(H)	
	通信設定(S)	F4

転送中のウィンドウが表示されます。

メモ

[キャンセル] ボタンを押すと、転送を中断します。

転送が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

音源テータを転送中です。	
しばらくお待ちください・・・	
ファイル転送中: 800,256 / 54,237,428	キャンセル(C)
S-1000 Manager	
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
•	\frown
•	ОК
•	ОК
•	

3 [OK] ボタンをクリックする。 画面が閉じます。

ご注意

設定データを FS-1000 システムの設定に反映するには、FS-1000 で設定データの更新を行う必要があります。 音源データも同様です。

FS-1000 本体の設定操作部を操作し、メンテナンスメニューから CF カードの設定データ更新、音源データ 更新を行ってください。

■ 設定・音源データを FS-1000 からダウンロードする

FS-1000 本体の CF カードに保存されている設定・音源データをパソコンにオンラインでダウンロードする ことができます。

ご注意

ダウンロードする設定・音源データは現在編集中の設定・音源データに上書きされます。ダウンロード時に 編集中のデータを保存してください。

1 FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続 する。

通信接続のしかたは、P. 85「FS-1000 とパソコンを通信接続する」をお読みください。 通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから ら [通信→設定・音源ダウンロード(本体 CF → PC)]を 選択する。

FS-1000 とパソコンを通信接続していないときに実行すると、通信接続を行ってから転送を開始します。

🛂 FS-1000 Ma	nager -			
ファイル(F)	通信(C) ツール(T) ヘルプ(H))		
	接続(C)	F5		
	切断(D)	F6		
	設定ダウンロード(本体CF→PC) (R) 設定アップロード(PC→本体CF) (W)			
<	設定・音源ダウンロード(本体	CF→PC) (O)		
	設定 音源アップロード(PC・キ件の)(0)			
	履歴ファイル取得(H)			
	通信設定(S)	F4		

転送中のウィンドウが表示されます。

メモ

[キャンセル] ボタンを押すと、転送を中断します。

転送が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

S-1000 Manager	
音源データを転送中です。	
しばらくお待ちください・・・	
■ ファイル転送中: 800,256 / 54,237,428	キャンセル(C)



3 [OK] ボタンをクリックする。 画面が閉じます。

|履歴ファイルを FS-1000 からダウンロードする

FS-1000 本体の CF カードに保存されている履歴データをパソコンにオンラインで取得することができます。 取得した履歴データは、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager に読み込まれます。取得した履歴データを パソコンに保存する場合は、履歴の出力を行ってください。(■37 P. 97 「履歴の出力」)

ご注意

履歴ファイルを取得する前に、FS-1000 システムの履歴データを CF カードに書き込む必要があります。 FS-1000 本体の設定操作部を操作し、メンテナンスメニューから CF カードの履歴データ保存を行ってくだ さい。

7 FS-1000 と設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager をインストールしたパソコンを通信接続 する。

通信接続のしかたは、P. 85「FS-1000 とパソコンを通信接続する」をお読みください。 通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [通信→履歴ファイル取得]を選択する。

FS-1000 とパソコンを通信接続していないときに実行すると、通信接続を行ってから転送を開始します。

FS-1000 Ma	nager -			-	
ファイル(F)	通信(C)	ツール(T)	ヘルプ(H)		
	接続	(C)		F5	
	切断	切断(D) F6 設定ダウンロード(本体CF→PC) (R) 設定アップロード(PC→本体CF) (W)			
	設定設定				
	設定 設定	設定・音源ダウンロード(本体CF→PC) (O) 設定・音源アップロード(PC→本体CF) (U)			
<	履歴	履歴ファイル取得(H)			
	通信	設定(5)		F4	

S-1000 Manager

転送中のウィンドウが表示されます。

メモ

[キャンセル] ボタンを押すと、転送を中断します。

転送が完了すると右に示すウィンドウが表示されます。

しばらくお待ちください・・・	
ファイル転送中: 12,864 / 25,152	キャンセル(C)
FS-1000 Manager	
転送が正常に終了しました。	

履歴ファイルを転送中です。



■ 通信ができないときは

FS-1000 とパソコンが通信できないときは、以下のウィンドウが表示されます。



このような表示が出たら、以下の原因が考えられます。

- LAN ケーブルが接続されていない。
- クロスケーブルとストレートケーブルを間違えている。
- ●スイッチングハブに電源が供給されていない。
- FS-1000 本体とスイッチングハブの距離が 100 m 以上離れている。
- FS-1000 本体に電源が供給されていない。
- FS-1000 本体の LAN コネクターにケーブルが接続されていない。
- FS-1000 本体またはパソコンの IP アドレスなどのネットワーク設定が間違っている。
- ●カテゴリー5規格のストレートケーブルを使用していない。
- ●パソコンのファイアウォール機能により通信が制限されている。

~ ラベルの出力

FS-1000 本体や非常用リモコンの記名カード、業務用リモコンのラベルを出力することができます。 現在、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定されている名称を Excel ファイルに出力します。

ご注意

Excel がインストール済みで、使用可能な状態である必要があります。あらかじめ、Excel が使用できる状態 にしておいてください。



記名カード挿入部



7 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイル →ラベル出力] を選択する。



保存ダイアログが表示されます。

「 習 名前を付けて保存	and the second second	X
G (J) 5175!	ノ • ドキュメント • FS1000	· FS1000の検索 。
整理 ▼ 新しいフォルタ	- 7	# • O
☆ お気に入り ↓ ダウンロード	ドキュメント ライブラリ 🗲 FS1000	並べ替え: フォルダー ▼
■ デスクトップ [●] ■ 最近表示した場所	検索条件に一致する項目は	はありません。
⇒イブラリ ドキュメント		
 ■ ピクチャ ■ ピデオ ▲ ミュージック ・ 	3	
ファイル名(N): Fs1kLv ファイルの種類(T): Excel	l.xls JyD (-xis)	v
💿 フォルダーの非表示	4	保存(S) キャンセル

2 ラベル印刷データを保存するフォルダーを選択する。

3「ファイル名」を設定する。

メモ デフォルトでは、ファイル名は「Fs1kLvl.xls」に設定されています。

4 [保存] ボタンをクリックする。

保存が開始されます。 生成された Excel のファイル(ブック)には、FS-1000 本体、非常用リモコン、業務用リモコン単位で、 ワークシートが分かれて作成されます。 用紙サイズは A4 に設定されています。

ご注意

ラベル出力中に、Excel ファイルを開かないでください。

FS-1	000 Manag	jer			
			ラベル出力中です	ŧ.	
			しばらくお待ちください		
<u></u> 5^	い出力中:	92 %			
	_				

5保存した Excel ファイルを開いて印刷する。

※次ページの印刷イメージを参照してください。

ご注意

- ●プリンターにより、1ページ分の印刷可能領域、ラベル幅の出力結果などが異なります。
- 厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用してください。

スイッチ1	スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	スイッチ5
スイッチ6	スイッチ7	スイッチ8	スイッチ9	スイッチ10
スイッチ11	スイッチ12	スイッチ13	スイッチ14	スイッチ15
スイッチ16	スイッチ17	スイッチ18	スイッチ19	スイッチ20
スイッチ21	スイッチ22	スイッチ23	スイッチ24	スイッチ25
スイッチ26	スイッチ27	スイッチ28	スイッチ29	スイッチ30
スイッチ31	スイッチ32	スイッチ33	スイッチ34	スイッチ35
スイッチ36	スイッチ37	スイッチ38	スイッチ39	スイッチ40

[表示ラベル印刷イメージ]

業務RM1

業務RMT本体	業務RMT增設T	業務RM1 増設2	業務RM1 増設3
スイッチ1	スイッチ11	スイッチ21	スイッチ31
スイッチ2	スイッチ12	スイッチ22	スイッチ32
スイッチ3	スイッチ13	スイッチ23	スイッチ33
スイッチ4	スイッチ14	スイッチ24	スイッチ34
スイッチ5	スイッチ15	スイッチ25	スイッチ35
スイッチ6	スイッチ16	スイッチ26	スイッチ36
スイッチ7	スイッチ17	スイッチ27	スイッチ37
スイッチ8	スイッチ18	スイッチ28	スイッチ38
スイッチ9	スイッチ19	スイッチ29	スイッチ39
スイッチ10	スイッチ20	スイッチ30	スイッチ40

履歴の出力

FS-1000 Manager に読み込んだ履歴ファイルおよびオンライン履歴表示で取得した履歴を出力することがで きます。

読み込んだ履歴ファイルとオンライン履歴を Excel ファイルに出力します。

ご注意

Excel がインストール済みで、使用可能な状態である必要があります。あらかじめ、Excel が使用できる状態 にしておいてください。

1 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイル →履歴出力] を選択する。



保存ダイアログが表示されます。



2 履歴データを保存するフォルダーを選択する。

3「ファイル名」を設定する。

メモ

デフォルトでは、ファイル名は「Fs1kHis.xls」に設定されています。

4 [保存] ボタンをクリックする。

保存が開始されます。 生成された Excel のファイル(ブック)には、読み込んだ履歴ファイルとオンライン履歴それぞれの動 作履歴、故障履歴、全履歴でワークシートが分かれて作成されます。 履歴の内容が存在するもののみワークシートが作成されます。 用紙サイズは A4 に設定されています。

ご注意

履歴出力中に、Excel ファイルを開かないでください。

FS-1000 Mana	ger	and the second se
		履歴出力中です。
		しばらくお待ちください・・・
履歴出力中:	18 %	
	_	

設定データの出力

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定したデータを、csv ファイルに出力することができます。

1 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイル→設定データ出力]を選択する。



以下のようなダイアログが表示されます。



2 保存先のフォルダーを選択する。

3 ファイル名を入力または選択し、[保存] ボタンをクリックする。

メーモ デフォルトでは、ファイル名は「Fs1kCnf.csv」に設定されています。

/設定のコピー

放送階選択スイッチ、チャイムスイッチなどの設定は、本体と非常用リモコンの間および業務用リモコン間 でコピーすることができます。

FS-1000 本体から非常用リモコンへの設定のコピー、非常用リモコンから FS-1000 本体または他の非常用リ モコンへの設定のコピーのどちらも可能です。業務用リモコンについても、同様に行うことができます。

7 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバー から [ツール→設定をコピー→本体・非常 RM] を選択 する。 設定コピー画面が表示されます。

2 対象機器の左プルダウンメニューからコピー元の機種を 選択する。

- **3** 対象機器の右プルダウンメニューからコピー先の機種を 選択する。
- 4 コピーする設定内容にチェックを入れる。
- 5 [OK] ボタンをクリックする。 選択した設定内容がコピー元からコピー先の機種へ反映されます。



 対象機器 本体 コピーする設定 マー資スイッチ設定 マ 放送階違択スイッチ設定 マ 対送階違択スイッチ設定 マ チャイムスイッチ設定 	▼ - 本(4 本(4 非常 ▼ BG (4)非常 ▼ チャ(1非常	*+全非常リモコン ▼ ++全非常リモコン リモコン1 リモコン2 リモコン3 リモコン4
	OK	キャンセル





設定ファイルの読み込み

設定データを設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager に読み込みます。

1 設定支援ソフトウェアFS-1000 Managerのメニューバー から[ファイル→開く→設定ファイル]を選択する。



[開く] ダイアログが表示されます。



2 設定ファイル「FS1KST.FSD」が保存されている場所を指定して、ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。

設定データと音源データを読み込みます。

ご注意

設定ファイル名が「FS1KST.FSD」以外のファイルを開いた場合は保存時に「FS1KST.FSD」のファイル名で保存されます。

設定ファイルの保存

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で設定したデータを音源データとともに保存します。

1 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイ ル→上書き保存] または [ファイル→名前を付けて保存」を選択する。



以下のようなダイアログが表示されます。

フォルダーの参照	×
保存先を選択してください。	
📃 デスクトップ	<u>^</u>
⊿ 🥽 ライブラリ	E
⊿ 📑 ドキュメント	
▷ 👔 マイ ドキュメント	
▷ 🔤 ピクチャ	
▷ 🛃 ビデオ	
▷ 👌 ミュージック	-
新しいフォルダーの作成(N)	ОК * +>ンセル
	3

2保存する場所のフォルダーを選択する。



メ モ 設定データのファイル名は「FS1KST.FSD」に設定されています。 ファイル名を変更することはできません。 編集した音源データと音源設定データは、このフォルダ下の edit_data フォルダ内に保存されます。

CF カードイメージの読み込み

FS-1000 本体の CF カードをオンラインで読み込むのではなく、パソコンから直接、FS-1000 本体に付属の CF カードに保存されている設定データと音源データを読み込むことができます。

- **1** FS-1000 本体に付属の CF カードを CF カードリーダー/ライターなどを使ってパソコンに接続する。
- 2 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイル → CF カードイメージを読込] を選択する。



以下のダイアログが表示されます。

フォルダーの参照	×
CFカードイメージの場所を選択してください。	
■ デスクトップ	
▲ 🧊 ライブラリ	E
▲ 📑 ドキュメント	
▷ 📗 マイ ドキュメント	
▶ 🚘 ピクチャ	
▷ 🛃 ビデオ	
▷ 🎝 ミュージック	-
OK	キャンセル
1	

3 読み込む対象の CF カードイメージが保存されたフォルダーを選択する。 CF カードのドライブを選択してください。

4 [OK] ボタンをクリックする。

「SETTINGS」フォルダー、「MESSAGE」フォルダー、「LOG」フォルダーから設定データ、音源データ、 履歴データを読み込みます。 設定データ(FS1KST.FSD)が存在しない場合は読み込めません。



FS-1000 本体の CF カードにオンラインで書き込むのではなく、パソコンから直接、FS-1000 本体に付属の CF カードに設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で作成したデータを保存する場合、CF カードイメージ 作成を行ってください。

また、CF カードに音源データを保存していない場合も、CF カードイメージ作成を行ってください。 CF カードイメージ作成を行うことで、設定データと音源データが自動的に適切なフォルダー名とファイル名 で保存されます。

7 FS-1000本体に付属の CF カードを CF カードリーダー/ライターなどを使ってパソコンに接続する。

Ē

キャンセル





3 CF カードイメージの作成場所を選択する。

OK

CF カードのドライブを選択してください。

4 [OK] ボタンをクリックする。

新しいフォルダーの作成(N)

📃 デスクトップ

▲ ライブラリ
 ▲ ○ ドキュメント
 ▶ ● マイドキュメント

▷ 🔄 ピクチャ ▷ 🛃 ビデオ ▷ ♪ ミュージック

選択した CF カードイメージの作成場所に「SETTINGS」フォルダーと「MESSAGE」フォルダーが作成され、それぞれ設定データと音源データが保存されます。

メモ

保存されるデータは以下のとおりです。

- ・設定データ : 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager で現在読み込んでいる設定データが保存 されます。合わせて、設定データと同じフォルダー内にある音源設定データが保 存されます。
- ・音源データ : ① 設定データが保存されているフォルダー下にある edit_data フォルダー内にある音源データが保存されます。
 - ② 音源データ編集画面のすべての音源データで、①のフォルダーにないデータは、 デフォルトの音源データが自動的に保存されます。

5 CF カードを FS-1000 本体に挿入する。

FS-1000 本体に CF カードを取り付ける方法については、FS-1000 設置説明書「CF カードの取り付け」 をお読みください。

ご注意

設定・音源データが保存された CF カードは、そのまま FS-1000 本体に挿入しておいてください。



すべての設定、必要なファイルを出力し終えたら、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager を終了します。

設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager のメニューバーから [ファイル →終了]を選択する。 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager が終了します。

ご注意

設定データを保存していない場合は、次のダイアログが表示されます。



FS-1000 Manager
アプリケーションを終了します。 変更内容を保存しますか?
(はい(Y) いいえ(N) キャンセル

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル	0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および
商品の内容や組み合わせ、設置方法などにつ	ナビダイヤル	0570-064-475 (有料)	カタログのご請求については、取り扱い店または最寄
いての技術的なお問い合わせにお応えします。	FAX	0570-017-108 (有料)	りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に
受付時間 9:00 ~ 17:00(土日、祝日除く)	※ PHS、IP 電話:	からはつながりません。	ついては、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供すること があります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ http://www.toa.co.jp/